



こうの みき

河野美希、四十二歳。一人息子の母、兼臨時教師。

女教師は俺の母親 3

The female teacher is my mother.

フルカラーコミック



じゃあ次、騎乗位な
乗ってこい美希...

お願い、もう...

お前ばっかイってん
じゃねえよ、ほら

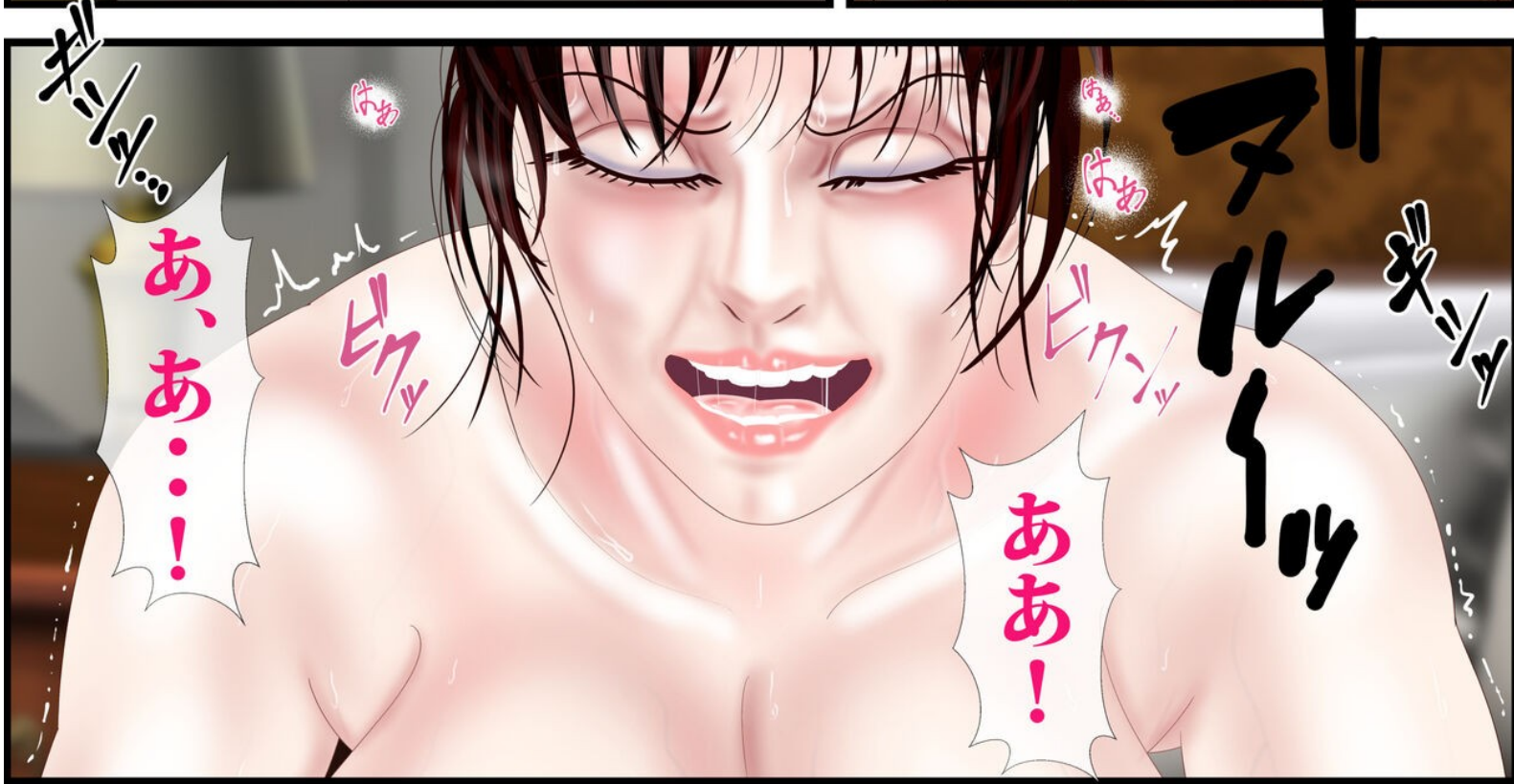


っは！

ぬぽっ



早くまたが
跨れや、美希



あ、あ...！

ああ！

ブルン





だめ...!!

美希ッ...おらッ!

ああああッ!

ほら、イケよ美希ッ

っはあ!

はぁはぁ

はぁ

はぁッ

パッ

パッ

はぁ...

はぁ

はぁ...

はぁ...

何言ってやがる
まだ夜の8時だぜ

ダメよ、余り遅いと
息子が…怪しむわ

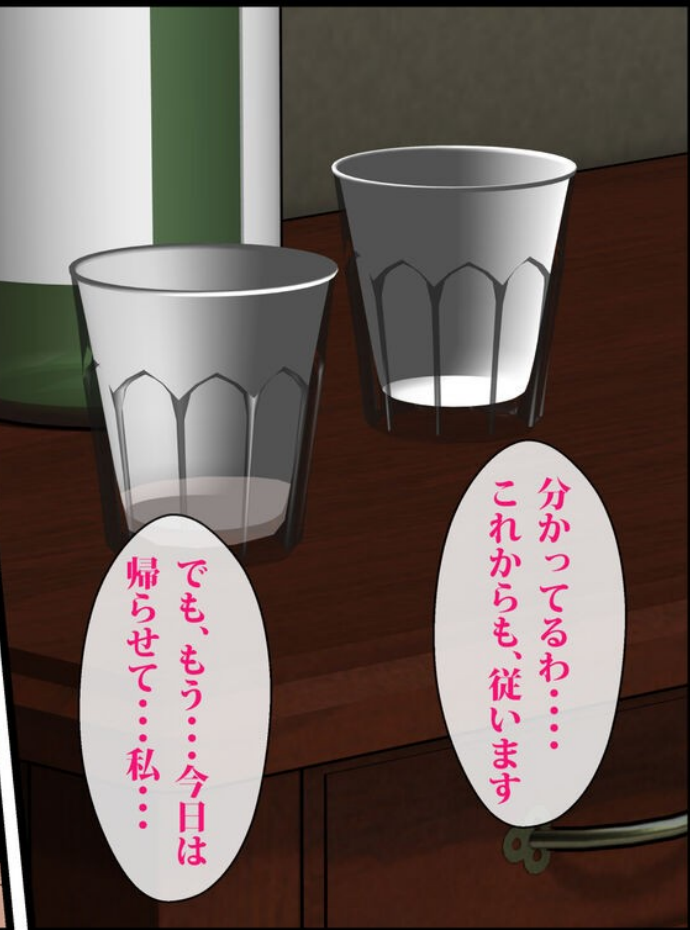
この事は…誰にも
知られたく、ないの…

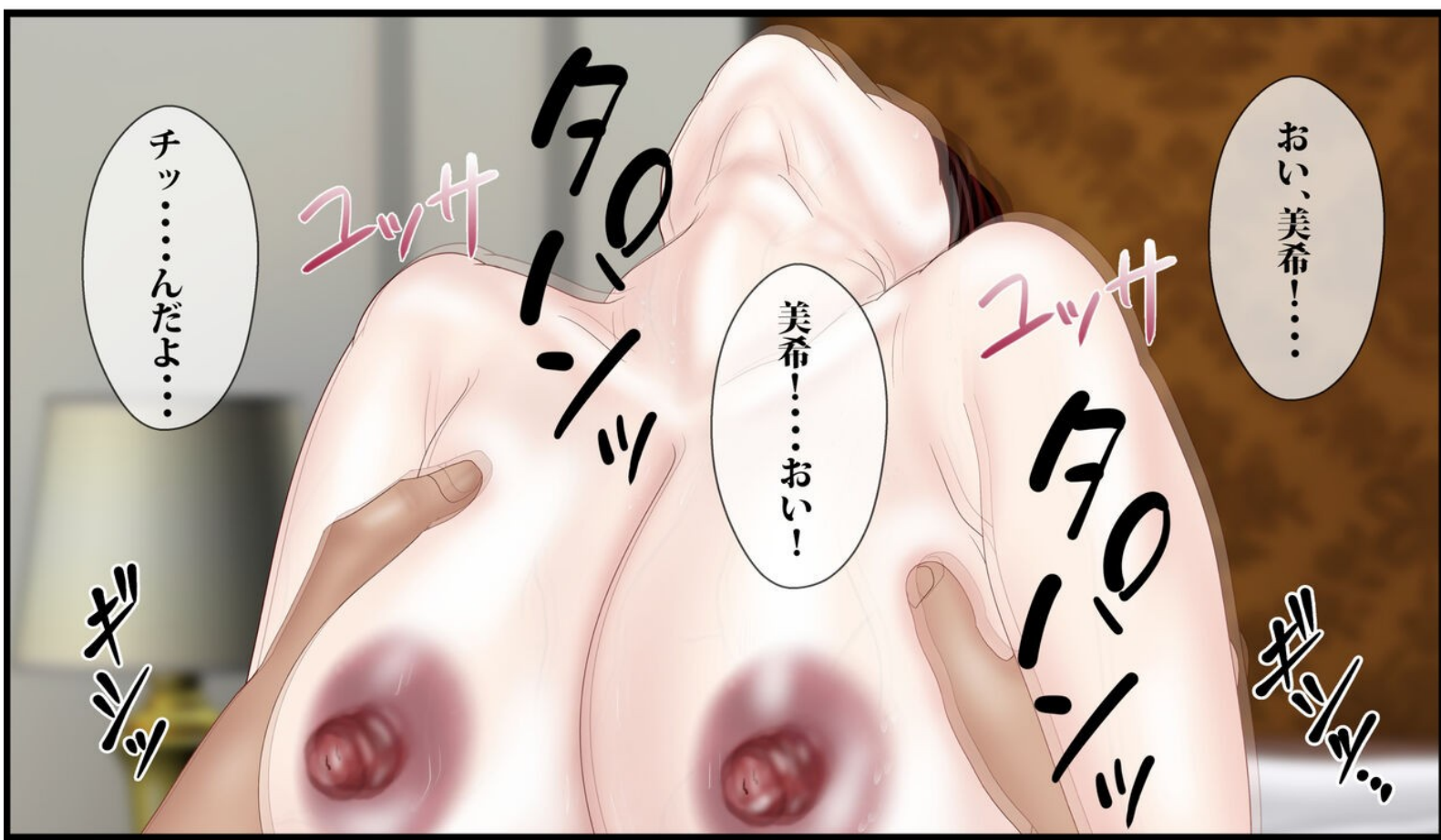
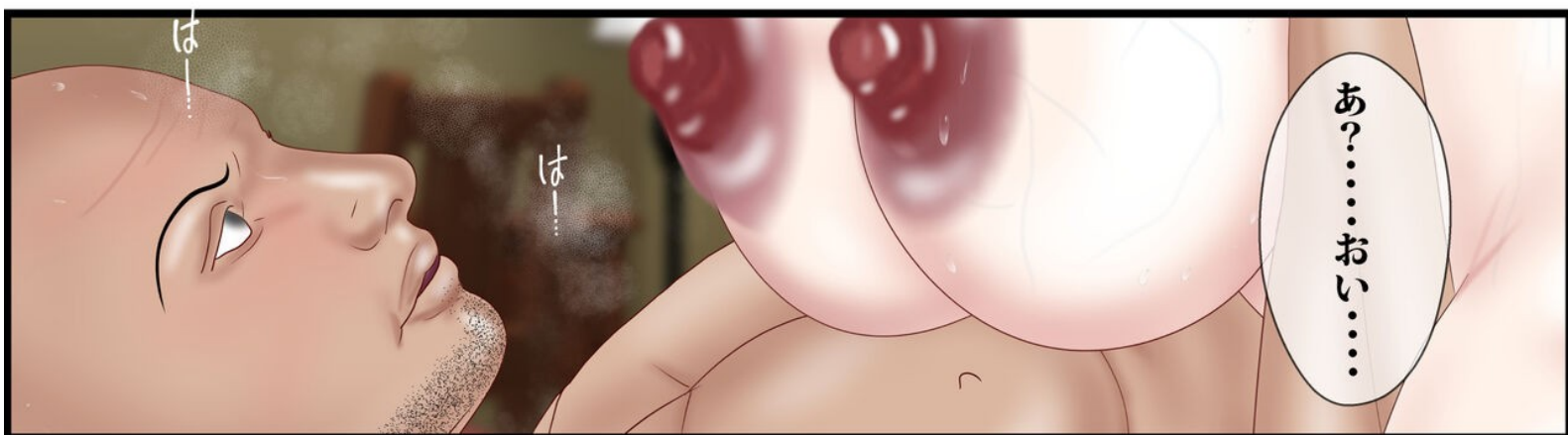
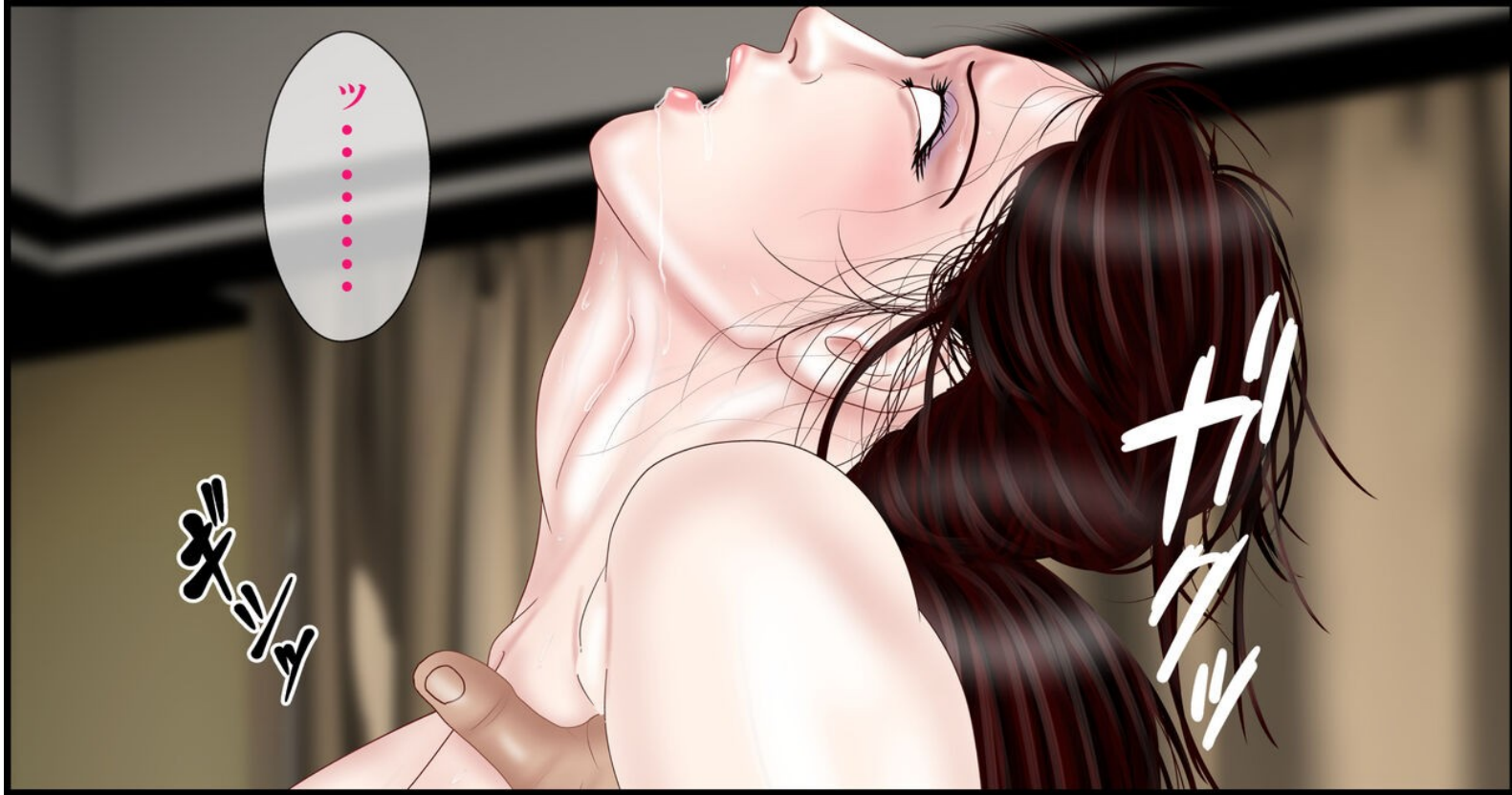
オイオイ、先生…
立場分かってんの？



ギィッ

ギィッ...







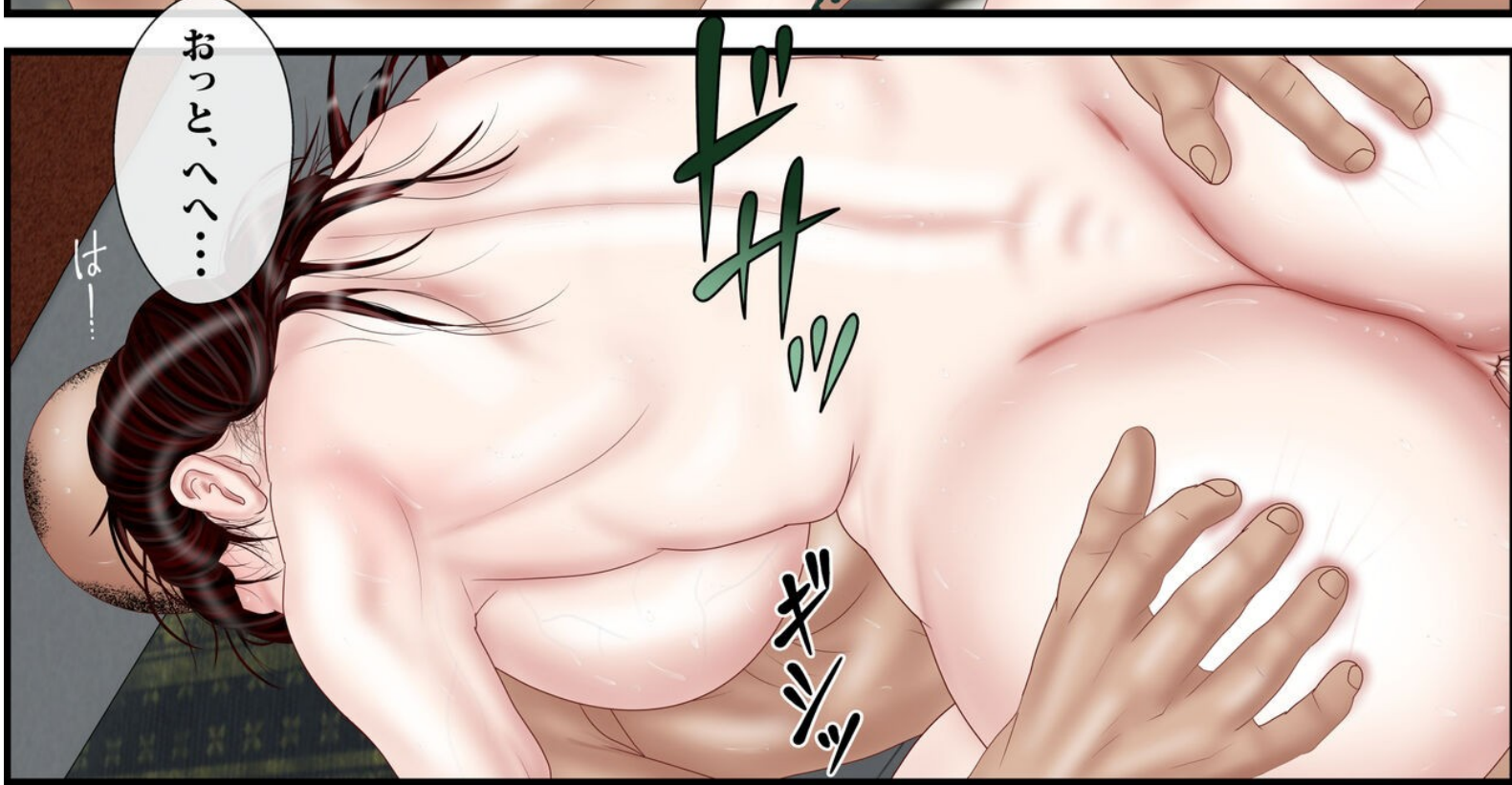
この淫乱女…
失神しやがった

俺あまだイって
ねえのによお…

は…

は…

オシツ…



おっとへへ…

ゴサツ

オシツ

は…



しかしここまで
効くとはねえ:

あのヤク、やつぱ
やべえわ...

は

は

は



オラよっ...と!

は

は

生ダッチワイフか
へへ...くそエロ

ゴサッ

ゴロッ



デカケツ...
上げる、ほらッ

ギョッ...

ギョッ...

ズズッ...

へへ…これで美希も
俺から離れられねえ

ヤクと太えチンポで
淫乱の血が覚醒よ…

は…

は…

は…

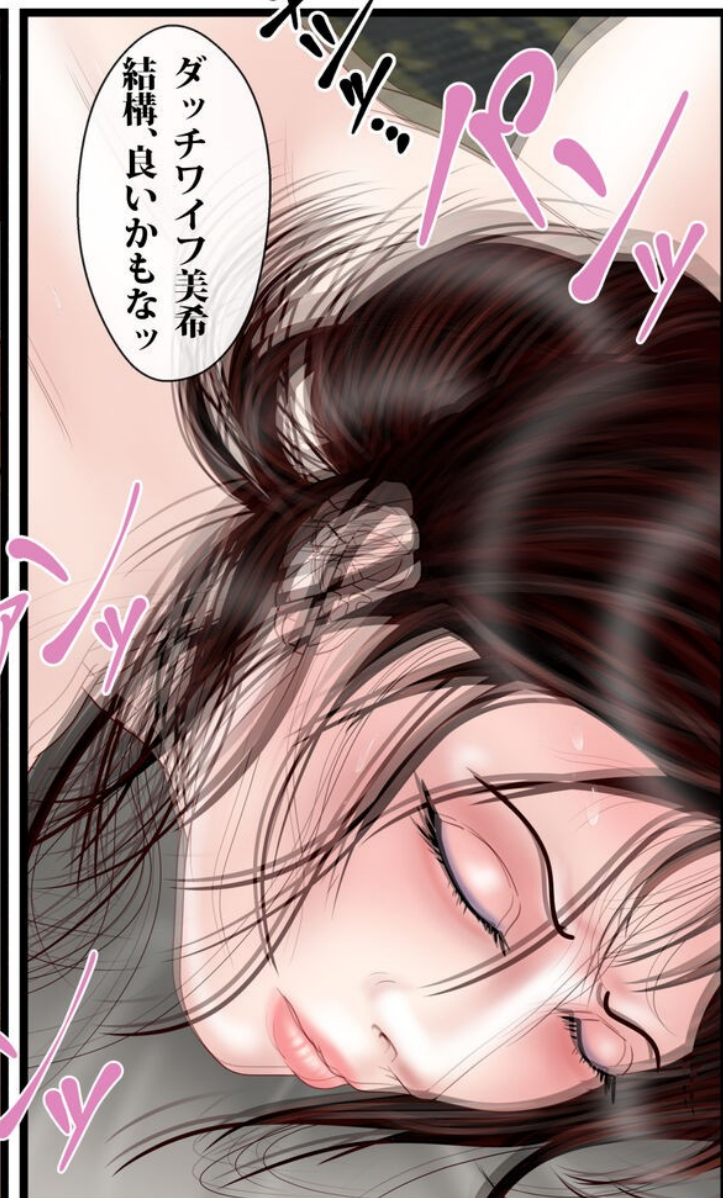
は…

お前はもう誰にも
渡さねえぞ、美希…

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ





この俺を、本気に
させやがってッ！

お前は、ぜってー
俺の、女だからな！

このケツも、乳も
澄ました顔もよ！

全部、俺の所有物
なんだよ、美希！

パァッ

パァッ

パァッ

パァッ

グッ

グッ

グッ

グッ...



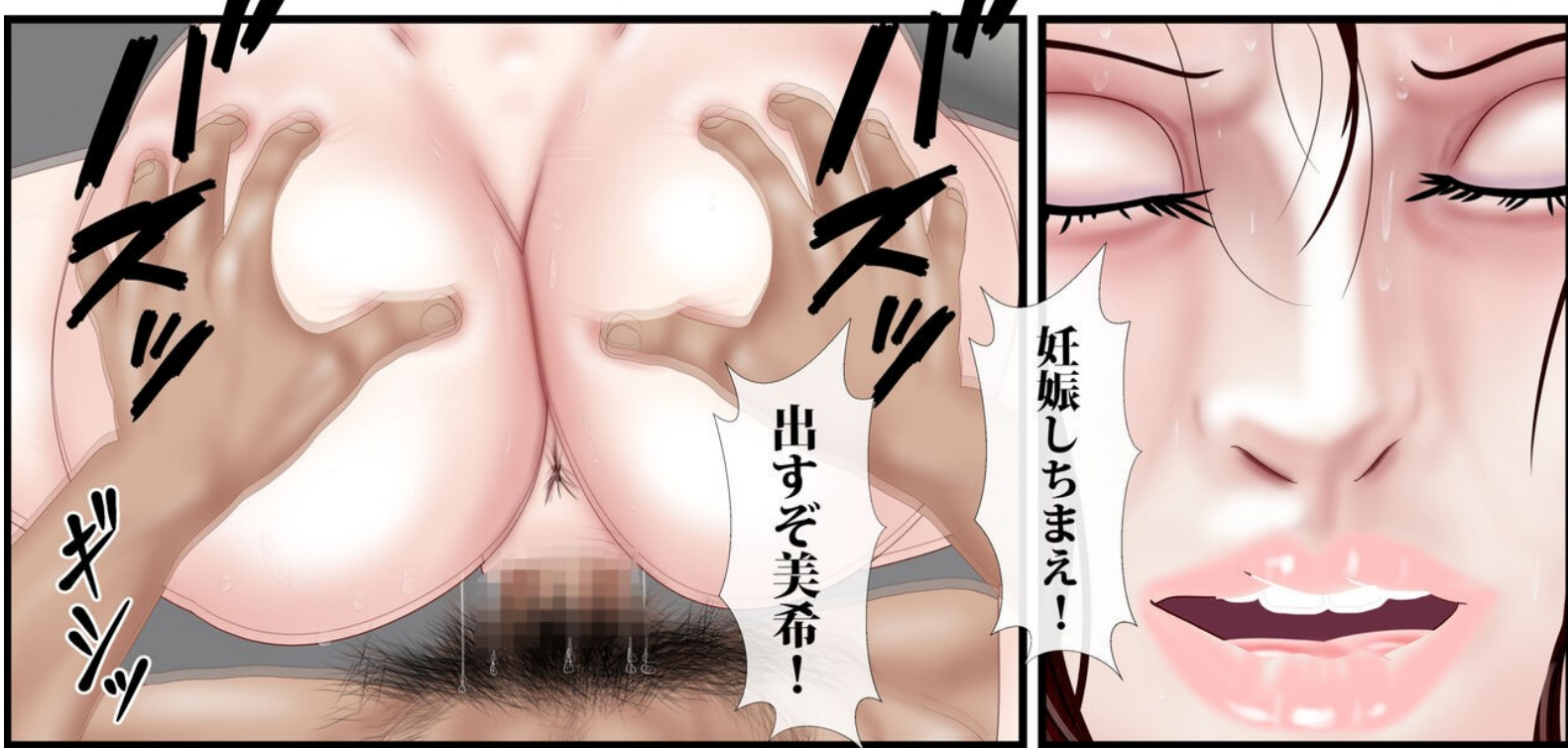
ここの
みき
河野美希ッ！

お前は俺の女だ！

誰にも渡さねえ！

ガッ

ガッ



妊娠しちまえ！

出すぞ美希！



ビクビク

ギョッ...

ギョッ

ビクビク

ビクビク

ビクビク

ビクビク

美希ッ...おとおッ!

…はい、あのヤク
最高でまた欲しくて

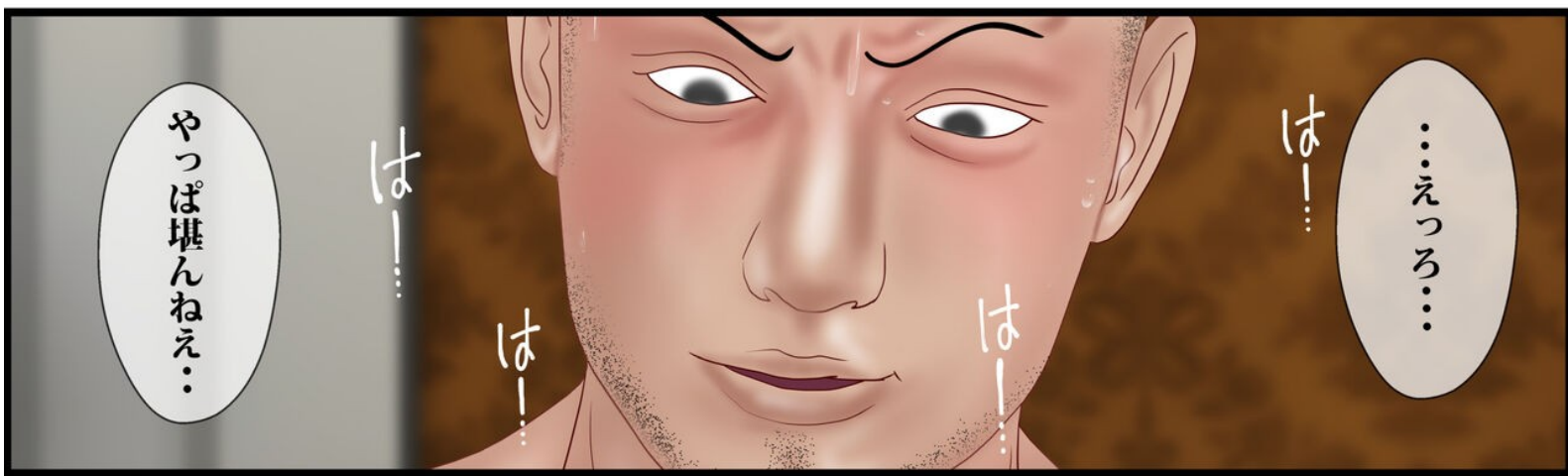
ああ…注射スか？
Sでしょ、犯る時ね

…あざっす…
じゃあまた伺います

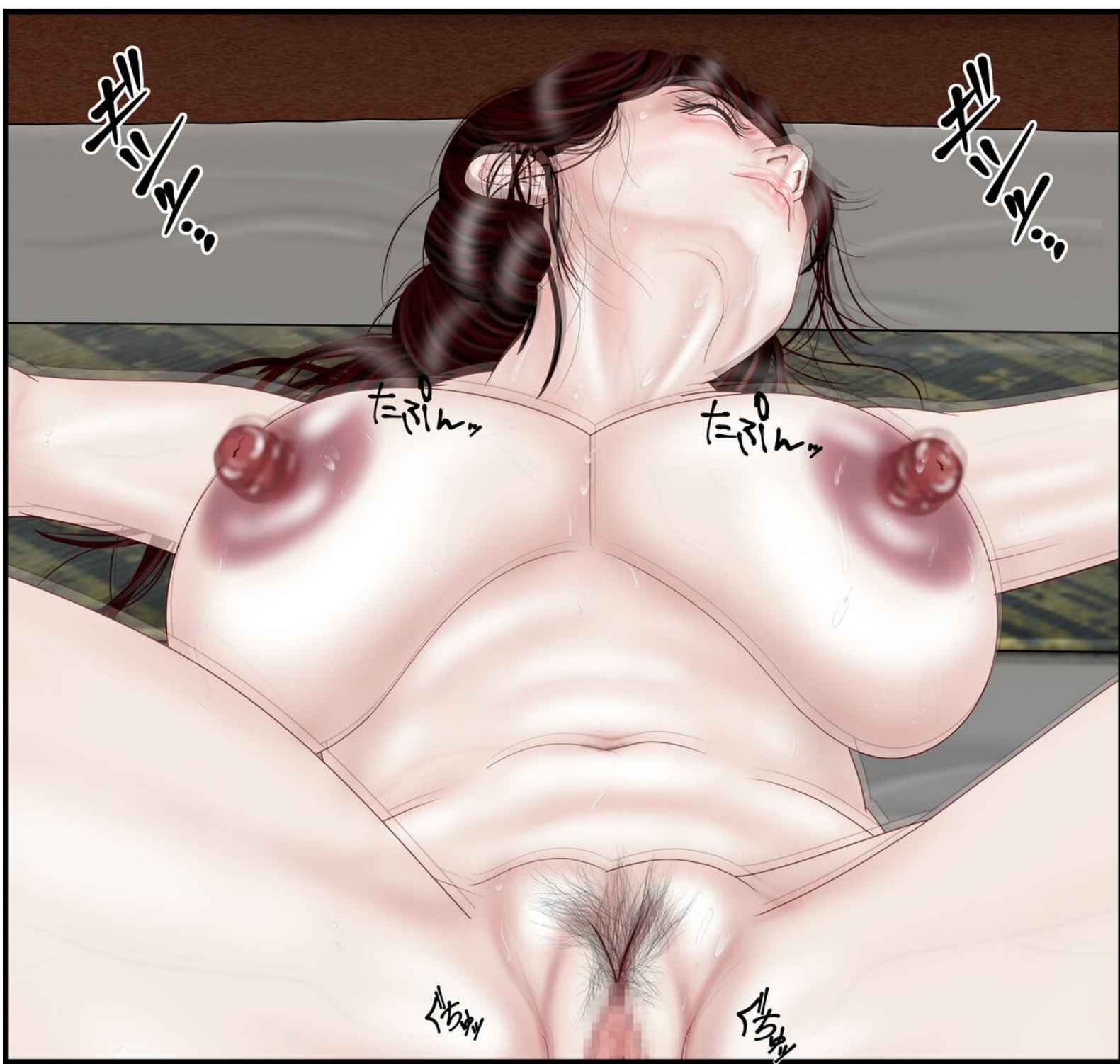
クソ…偉そうによ
このエロオヤジ…

まだ覚めねえのか
ヤベえなこれ…

今日の美希は俺の
オナホかよ、ったく

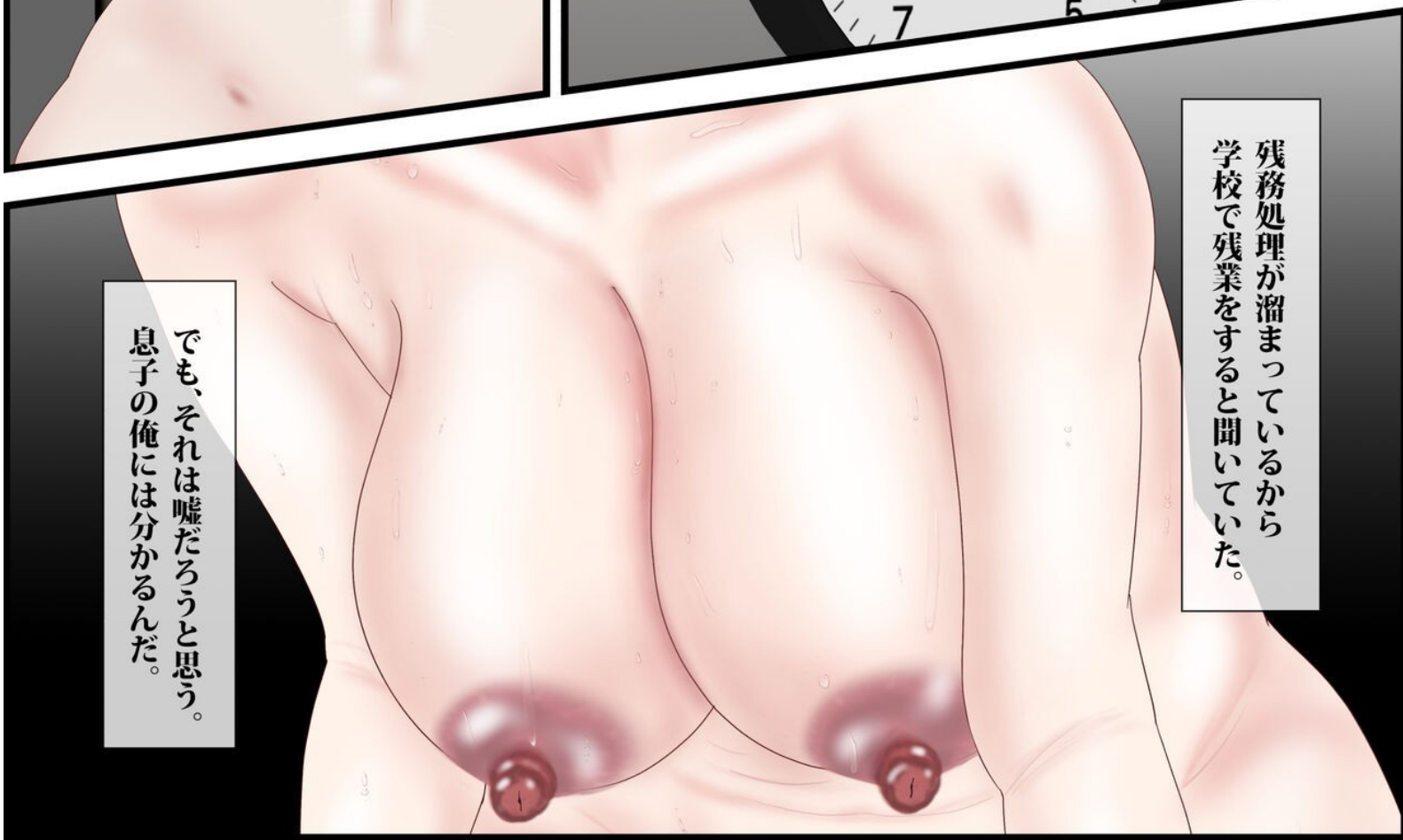








その日、母さんが帰宅したのは
もう午前に近い時刻だった。

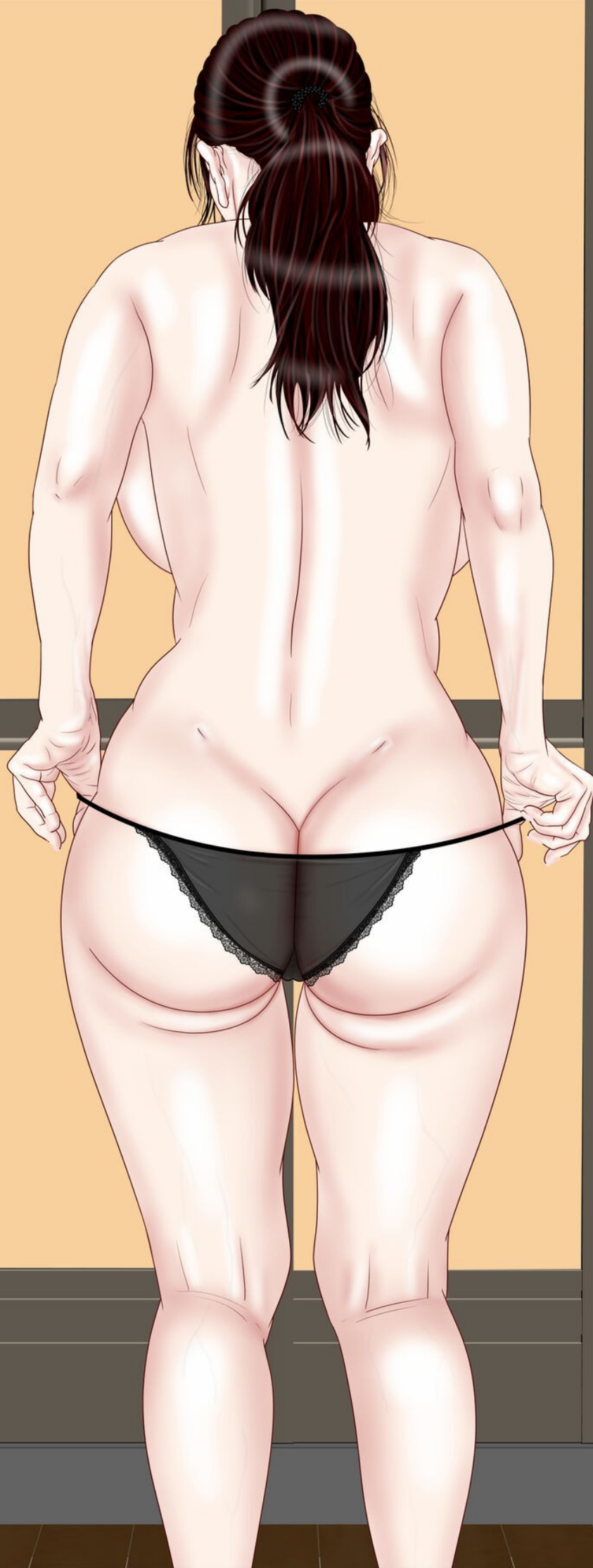


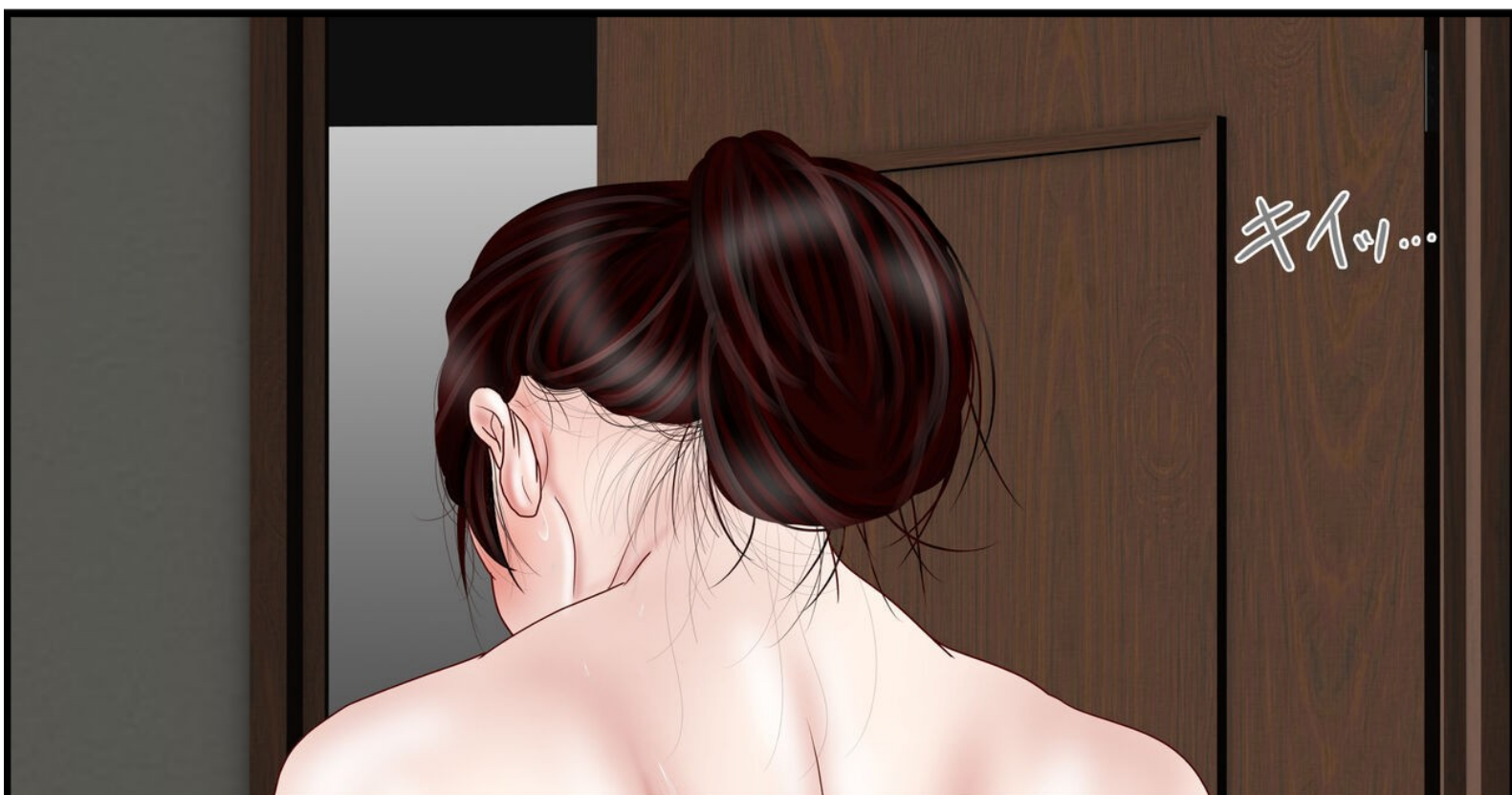
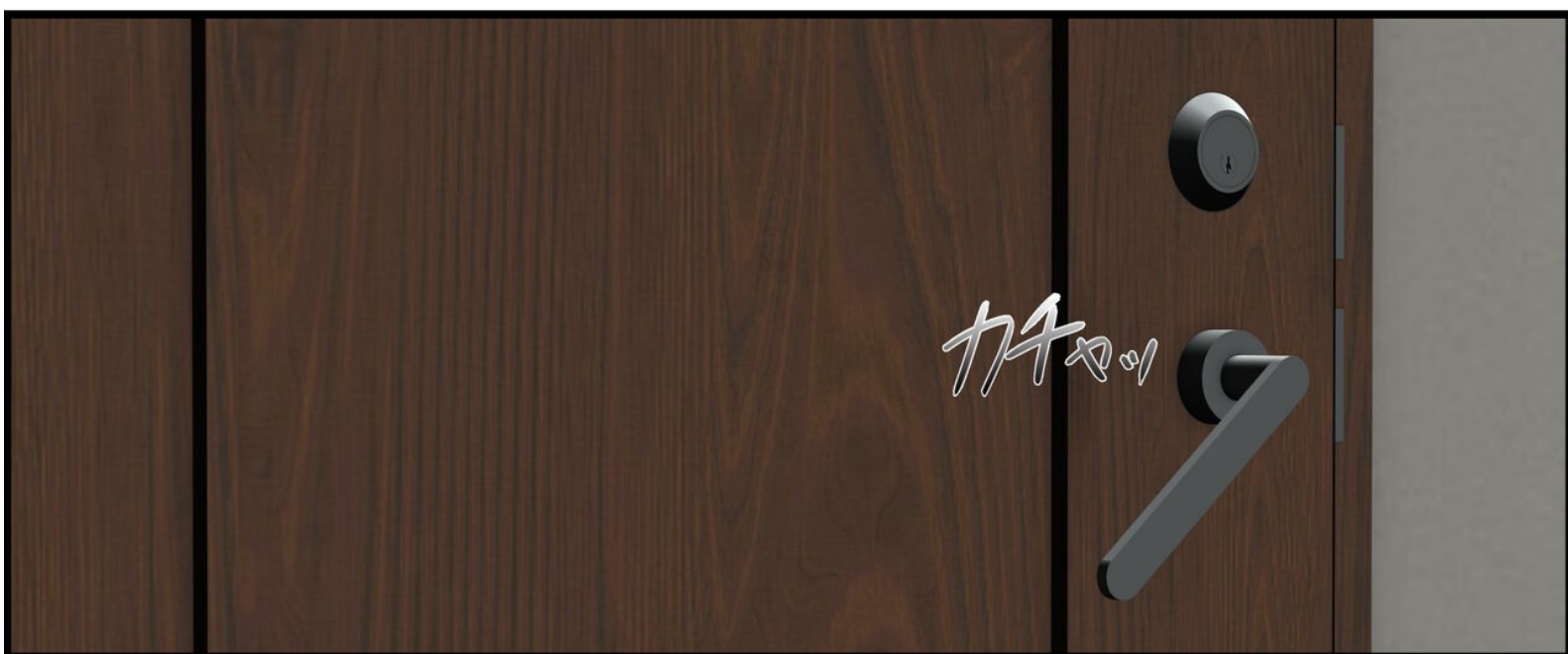
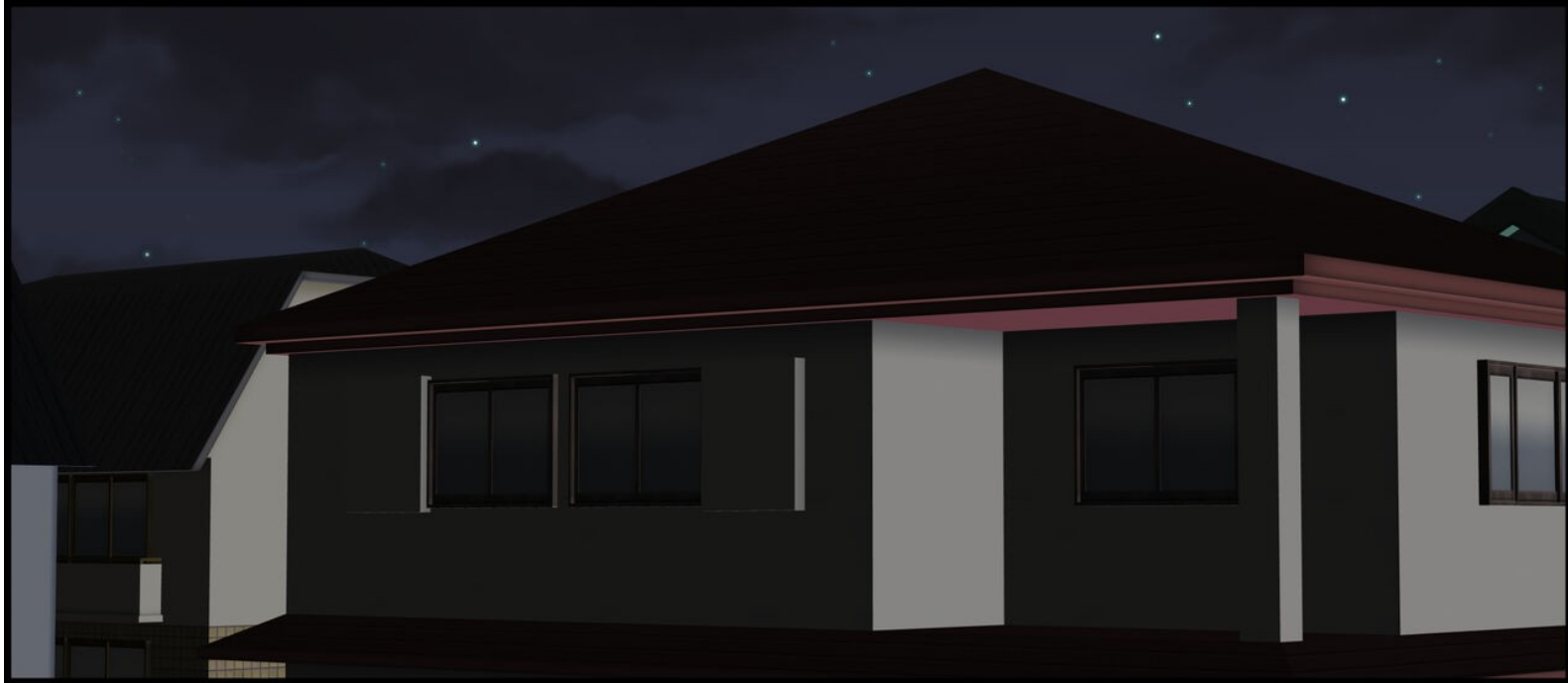
残務処理が溜まっているから
学校で残業をすると聞いていた。

でも、それは嘘だろうと思う。
息子の俺には分かるんだ。

上手くは言えないが、最近の
母さんからは女の匂いがする。

俺は母をずっと…異性として観ていた。
でも…今の母さんはそれだけじゃない。



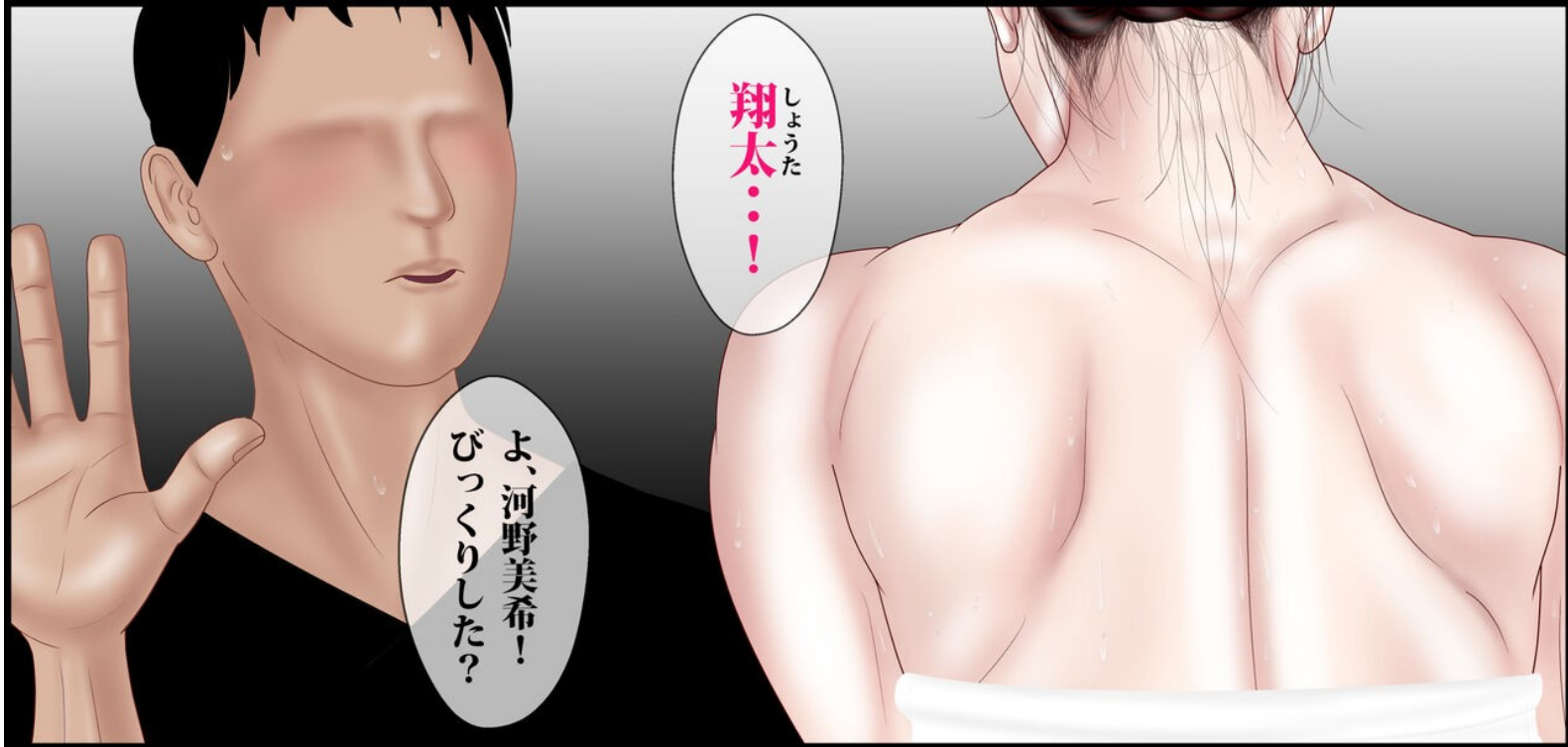


ボタン

おい、河野美希！
こうのみき

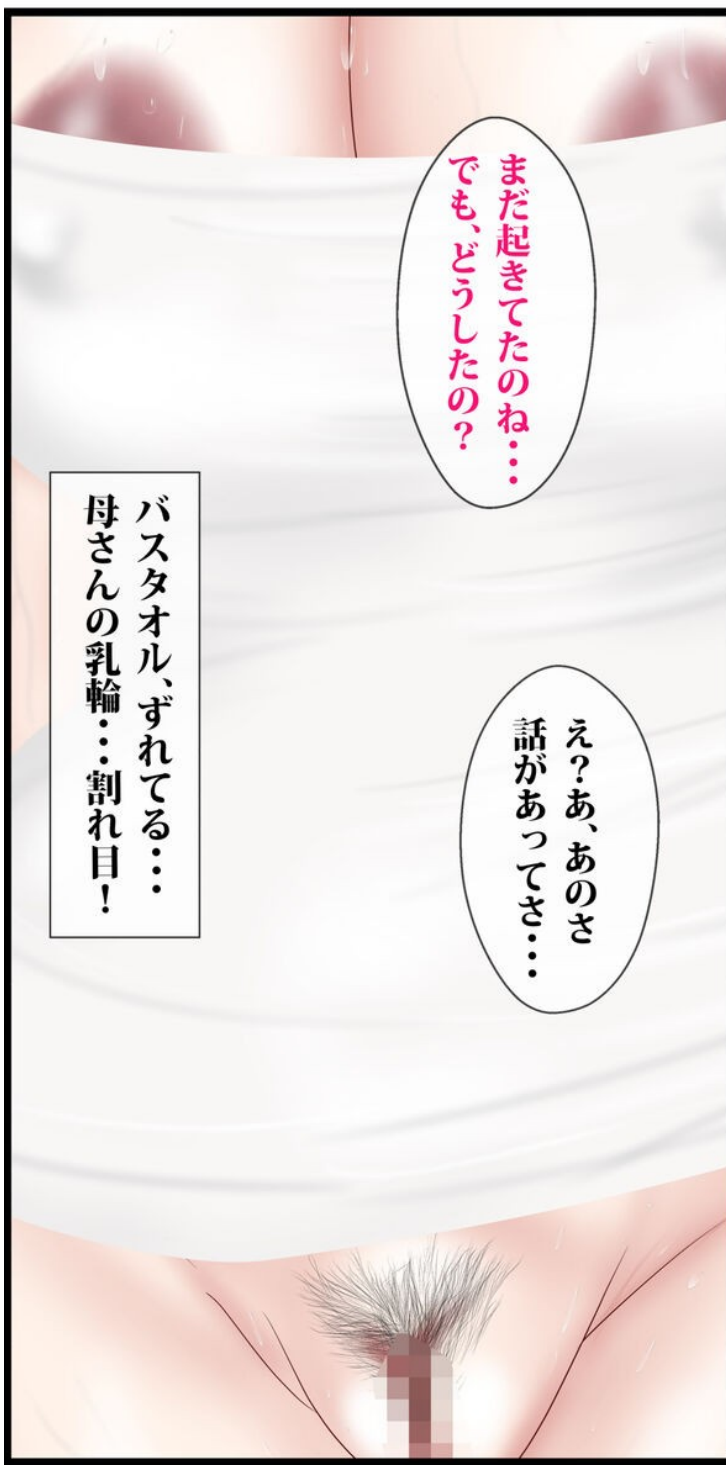
え

おはよう



翔太
しょうた
……!!

よ、河野美希!
びつくりした?



まだ起きてたのね……
でも、どうしたの?

え? あ、あのさ
話があつてさ……

バスタオル、ずれてる……
母さんの乳輪……割れ目!



もおし、翔太……!!
イタズラはやめて

母さん……心臓が
止まるかと思ったわ

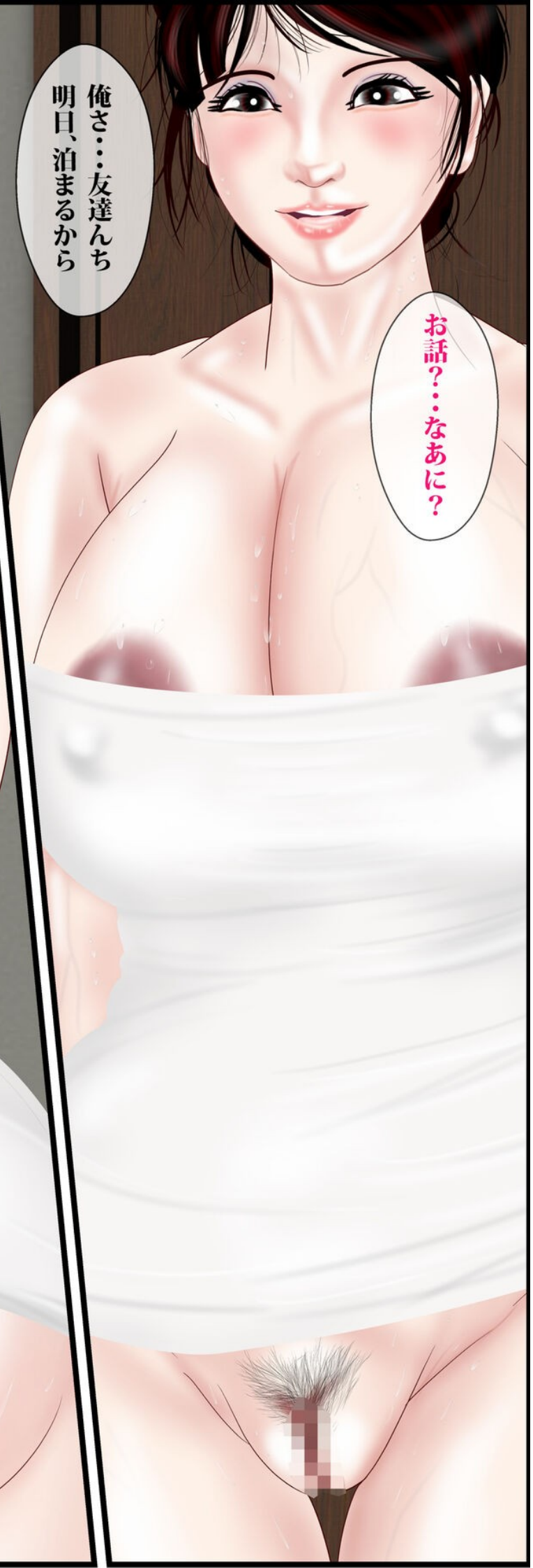


えー、随分急ね...

いや、前から決めてた
忘れてた...だけ

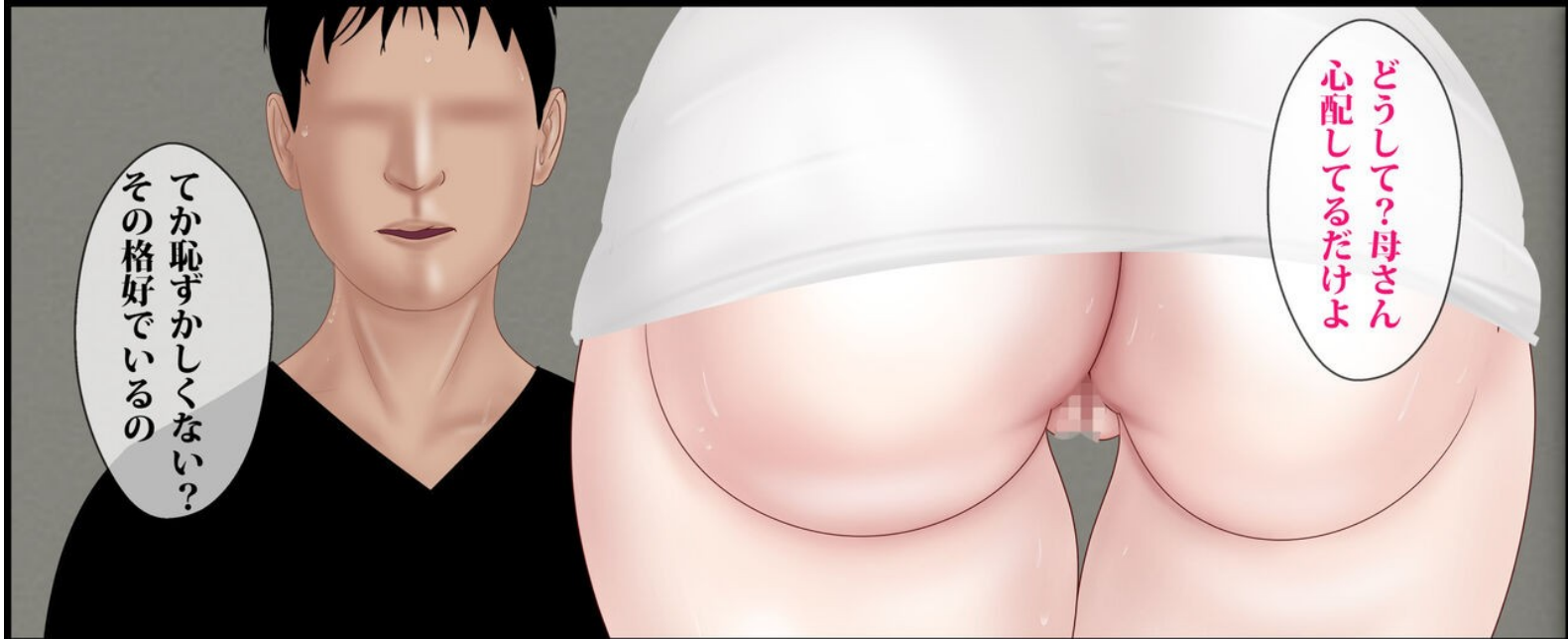
そう...分かったわ
でも誰の所...

良いじゃん、いい加減
子供扱いやめてよ



俺さ...友達んち
明日、泊まるから

お話?...なあに?



てか恥ずかしくない？
その格好でいるの

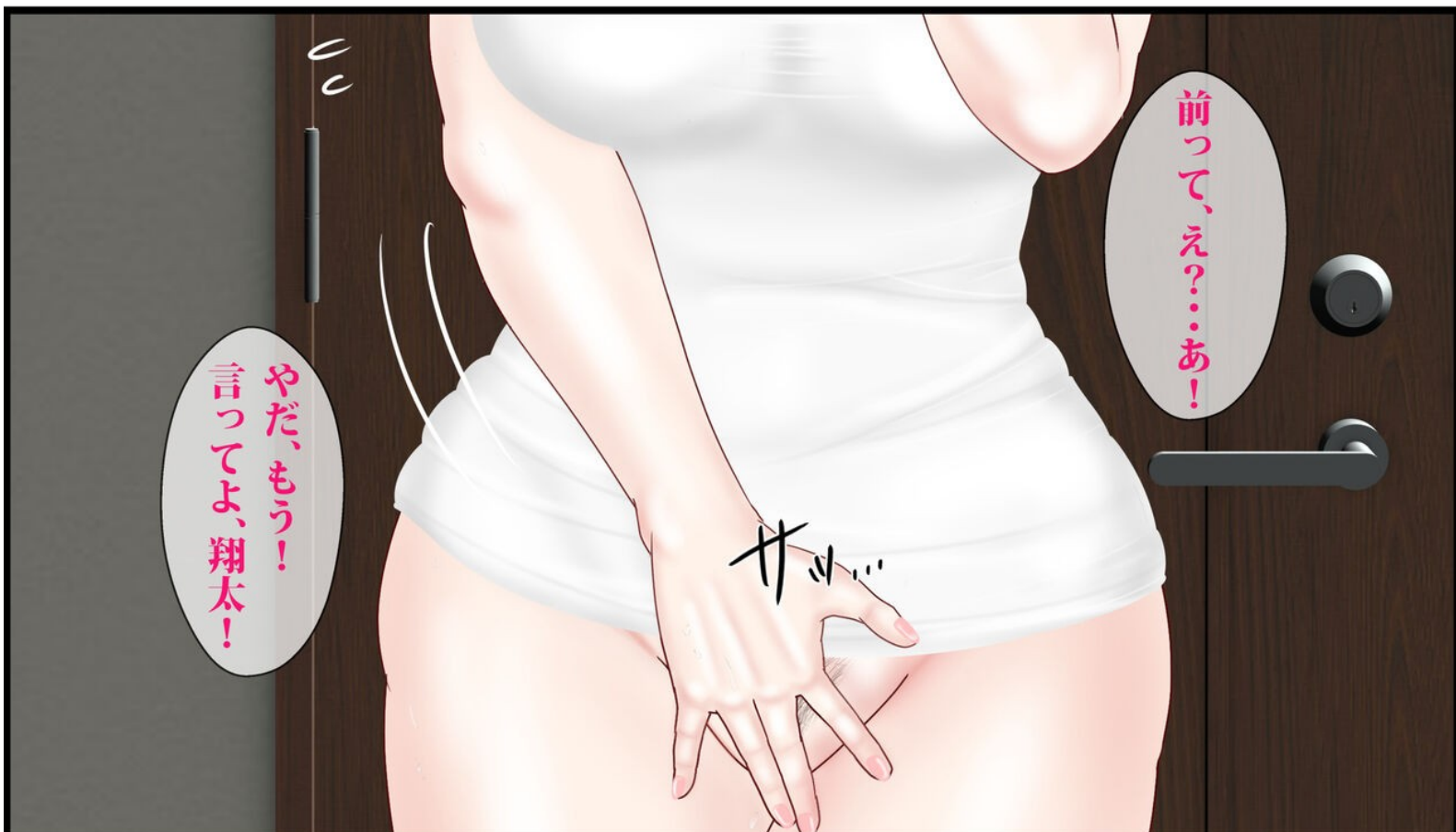
どうして？母さん
心配してるだけよ



でも…前とか
結構見えてるよ



別に…平気よ？
バスタオルしてるし



前って、え？…あ！

やだ、もう！
言ってよ、翔太！

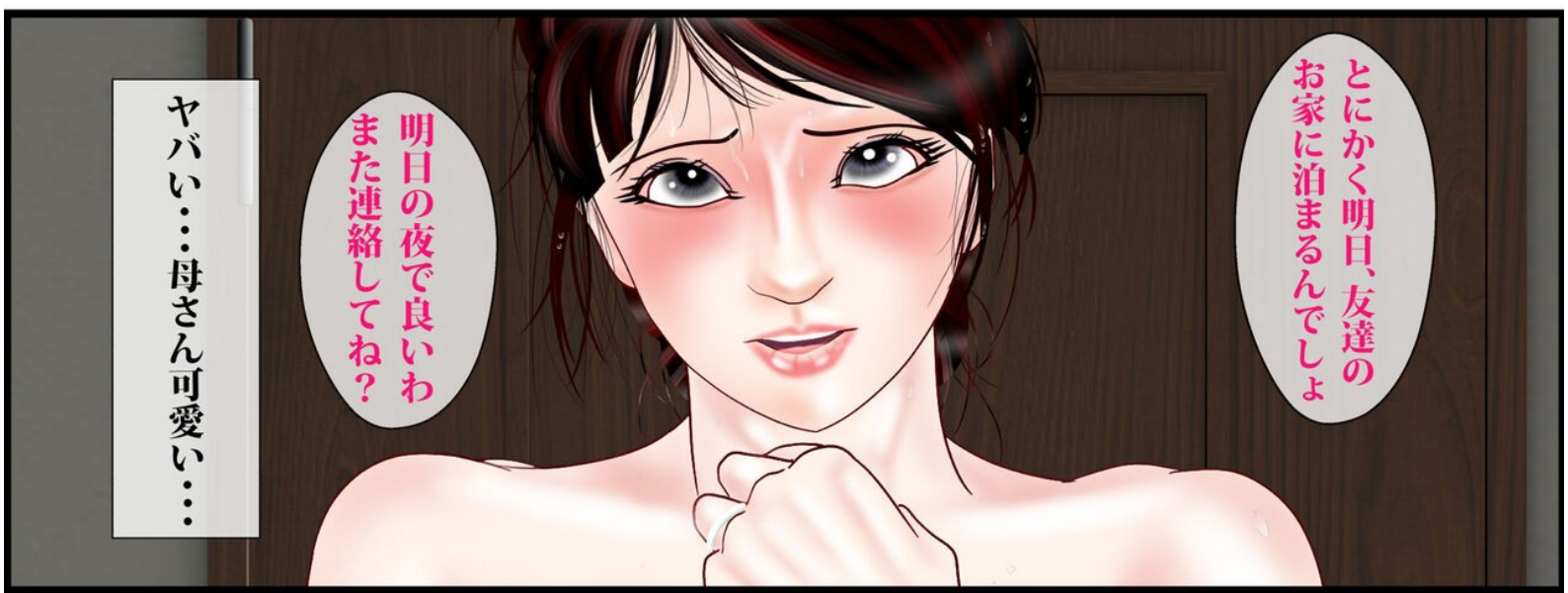


いやいや、だから
今言ったじゃん

ダメよ、もっと
早く教えて…

見られて恥ずいの？
自分の息子なのに

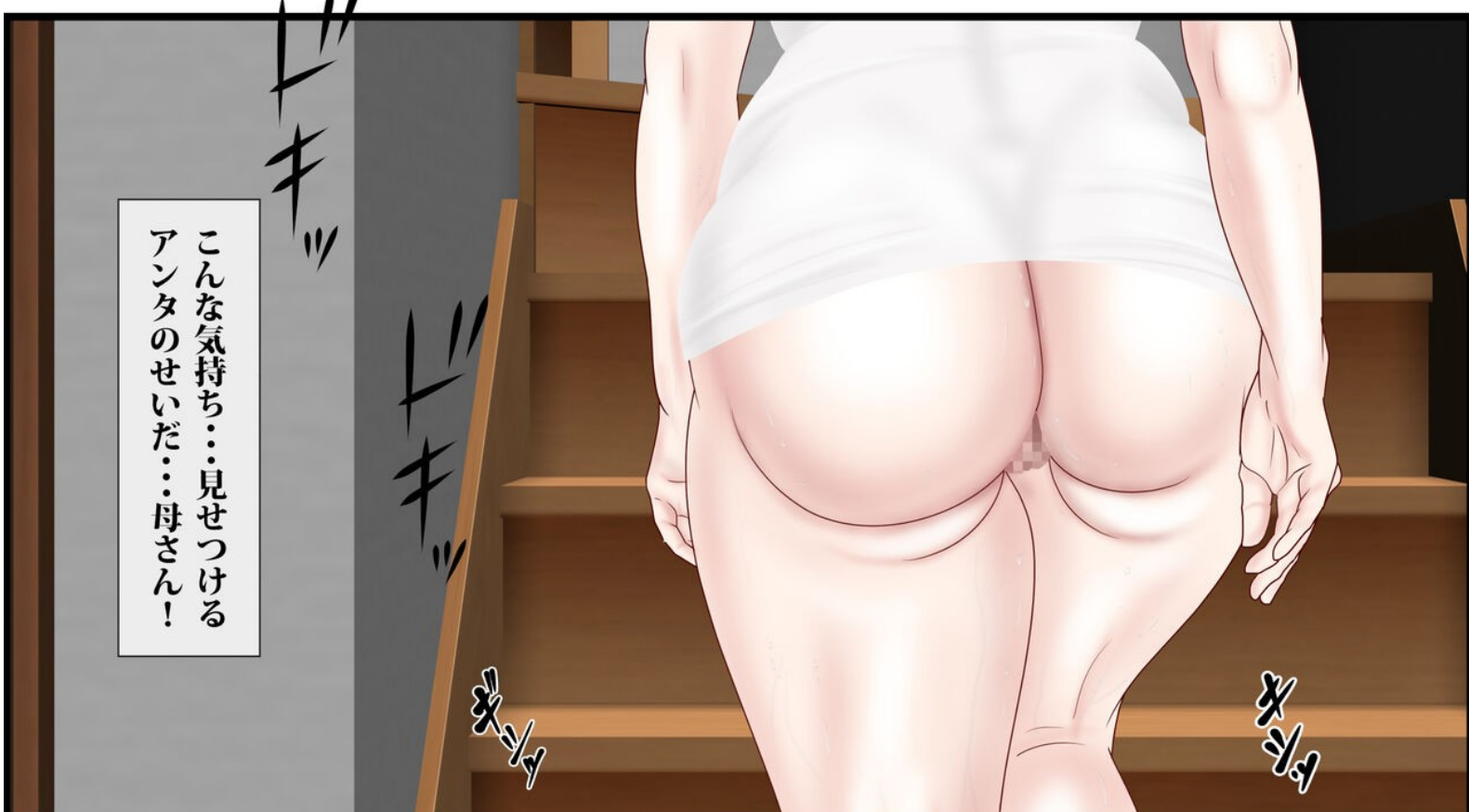
だって、それは…
場所…によるわ…



とにかく明日、友達のお家
に泊まるんでしょ

明日の夜で良いわ
また連絡してね？

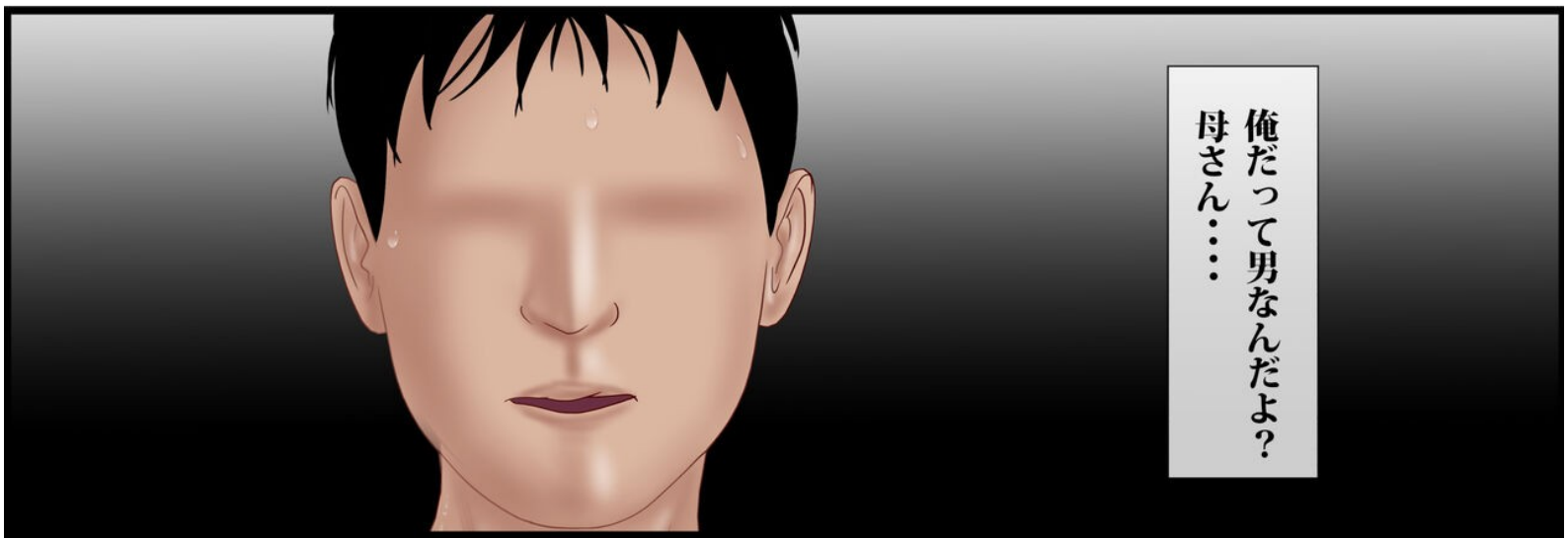
ヤバイ…母さん可愛い…





今日だってこんな深夜まで
何してたんだよ…男か？

熟れた身体を見せつけて…
息子なら安心ってか？



俺だって男なんだよ？
母さん…

次の日、母さんは学校へ
何食わぬ顔で出掛けた。

そうですか…では
補習授業は今の所…

問題は無いと言う認識で
宜しいですか？河野先生

いつもの様に、豊満な身体に
嫌らしい下着を着けて。

はい…今は順調に
推移出来ております



校長室

Fランクの彼らには
正直、良い噂は聞かない

それは良かった…いや
実は心配していたんです

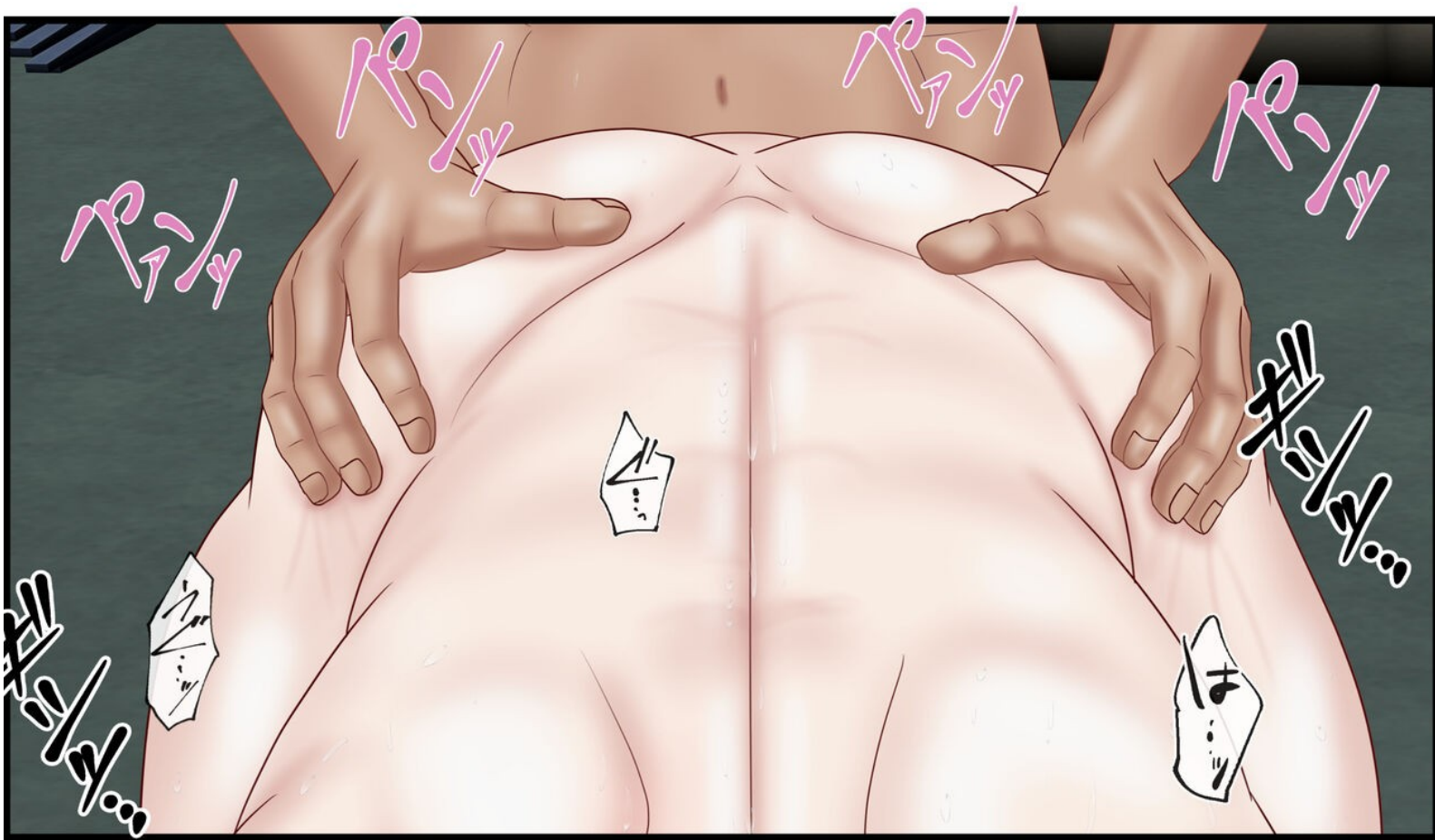
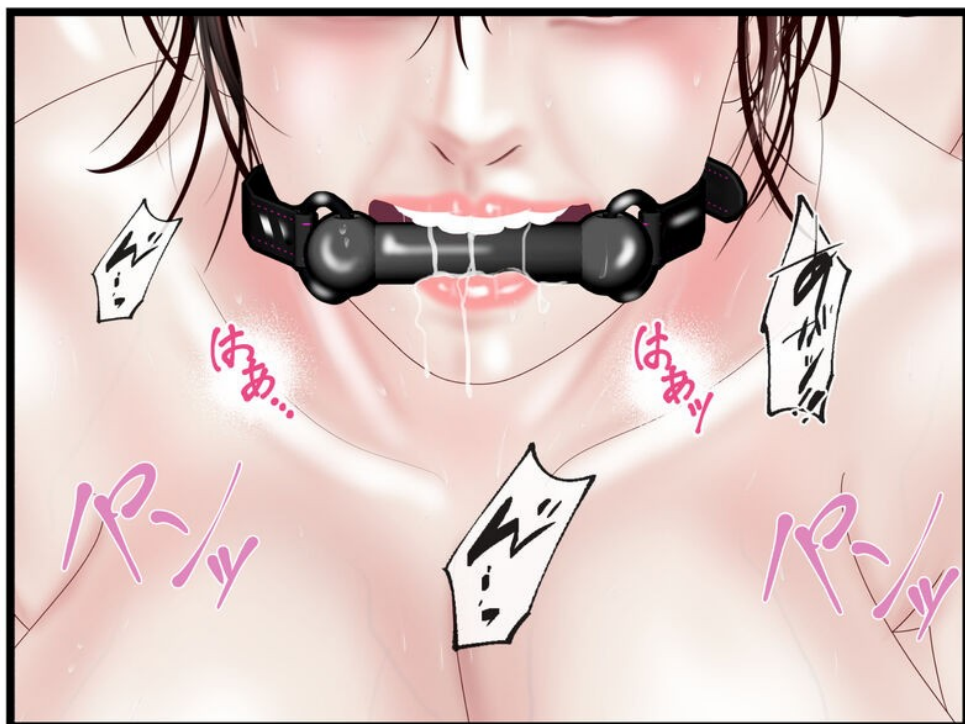
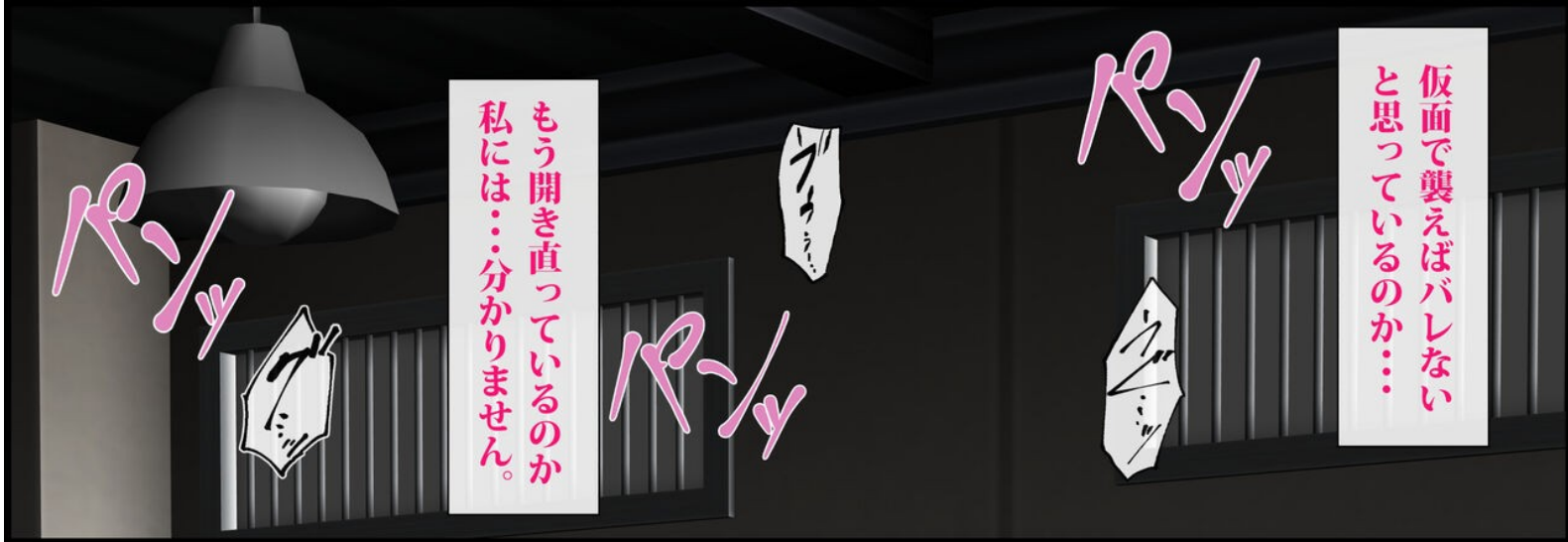
授業の妨害や、それ以上の
事をしてはいないかと…

いいえ、大丈夫です
授業も順調ですし…

お氣にかけて頂き
有難うございます

彼らが今、私をどう扱っているのか。
その行為を、言える筈ありません。

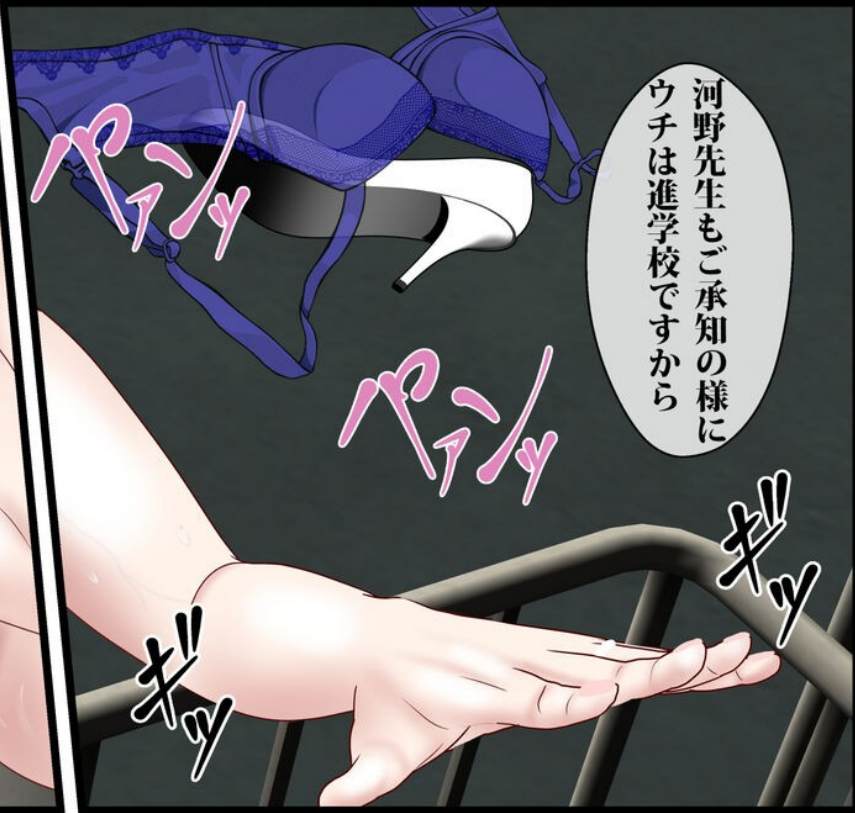
私は…校長先生に嘘をつきました。







出来るだけ…全員の
学力を上げてやりたい



河野先生もご承知の様に
ウチは進学校ですから



先生の息子さんの様なら
楽なんですが…ハハハ

いえ、そんな…息子も
まだまだ子供ですから



ビュルルル...!!

河野君が子供...?
そんな事はないでしょう

いえ、子供です...
彼らと違って...

ビュ
ビュ
ビュ

ビュ
ビュ
ビュ

ビュ
ビュ
ビュ

ビュ
ビュ
ビュ



今日、息子はお友達の
家に泊まるんです

ほう、友達に誘われ
たのでしょうか

はい、でも誰のお家か
言わなくて…



私は心配だから誰の所
って訊くんですけど

子供扱いするなって…
ふふ…本当に子供です

なるほど…
そうでしたか…



ただ…それは本当に
言いたくないのかも
知れませんが、先生

言いたくない…?
どうしてでしょうか

若者は大人になるに
つれ…秘密が増える

秘密…ですか…?



我々大人が良い見本
ですよ、河野先生

大人になれば必ず
秘密が出来ます

言えない事が増えていく
それが大人になる道順です



まあ…これは私の
戯言ですがね、ハハハ

いいえ…仰る通りかも
知れません…



おや、もうこんな時間か

先生、今日はすみません
お休みの所を私の為に

いえいえ、とんでもない
私がお誘いしたんです



では私はこれで失礼します

はい、お疲れ様でした

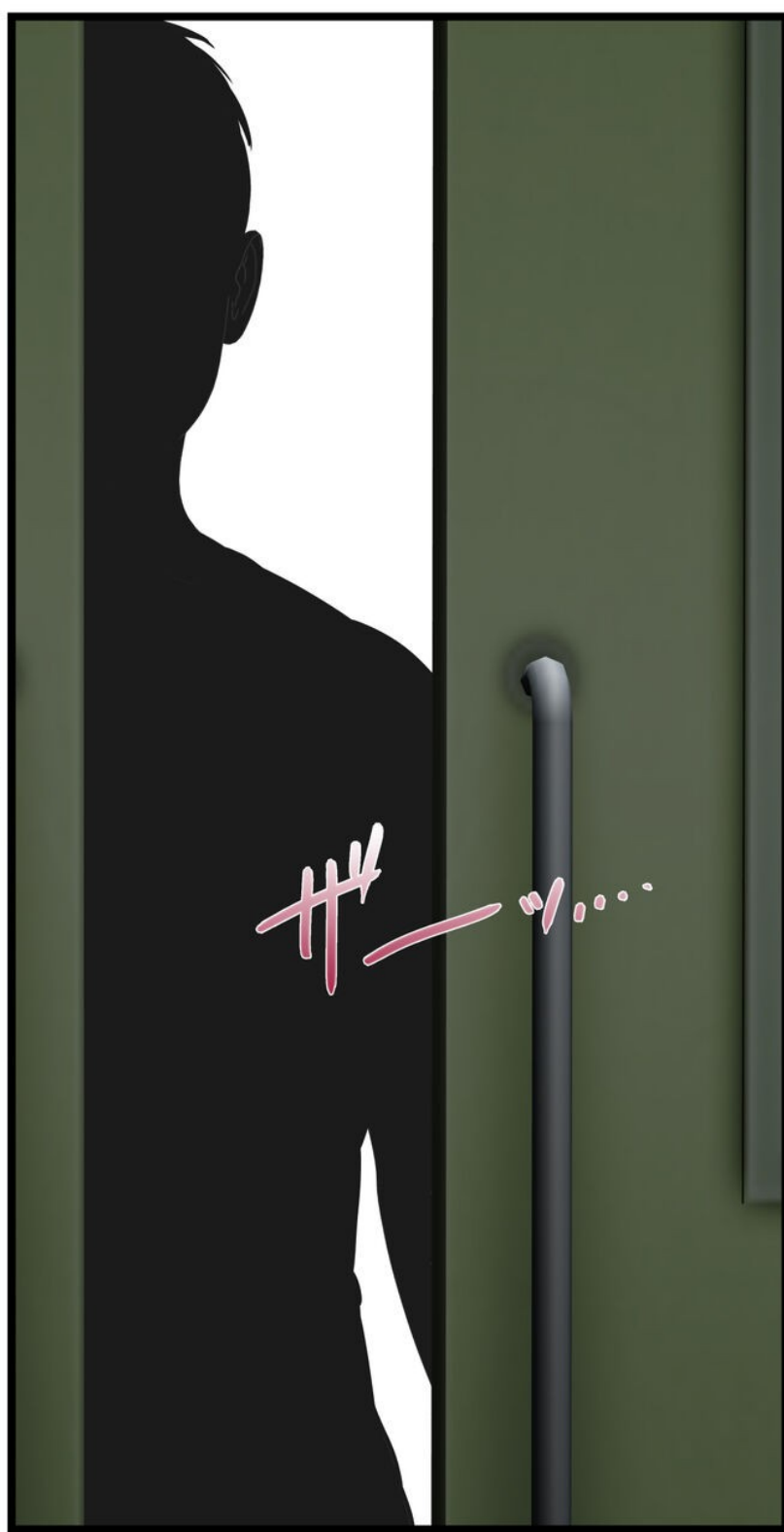
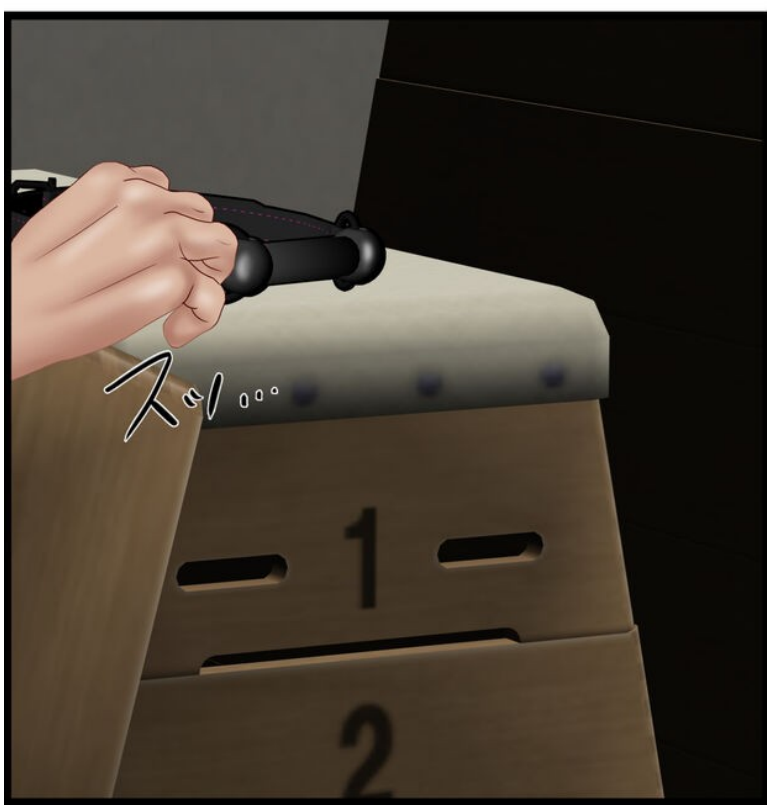
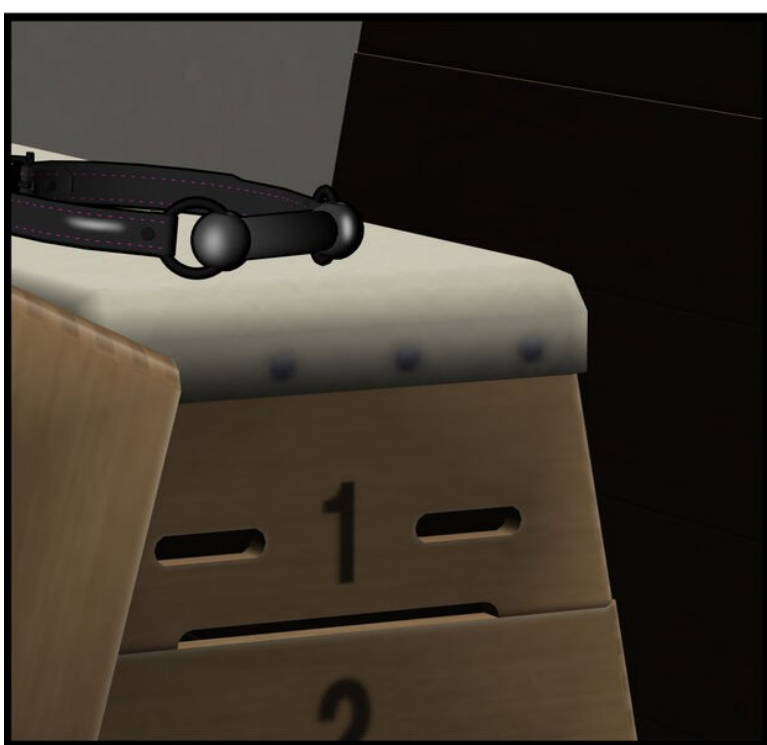
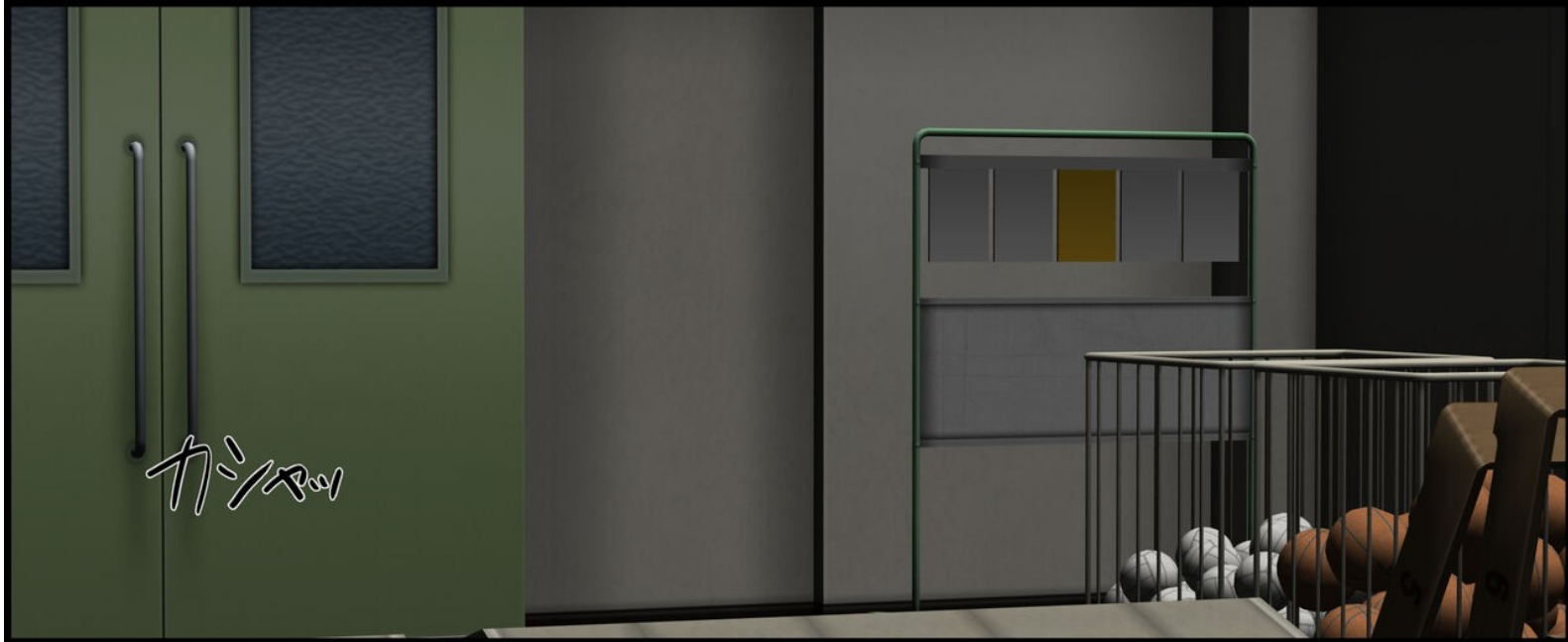
河野先生も今日は
早くお帰りください

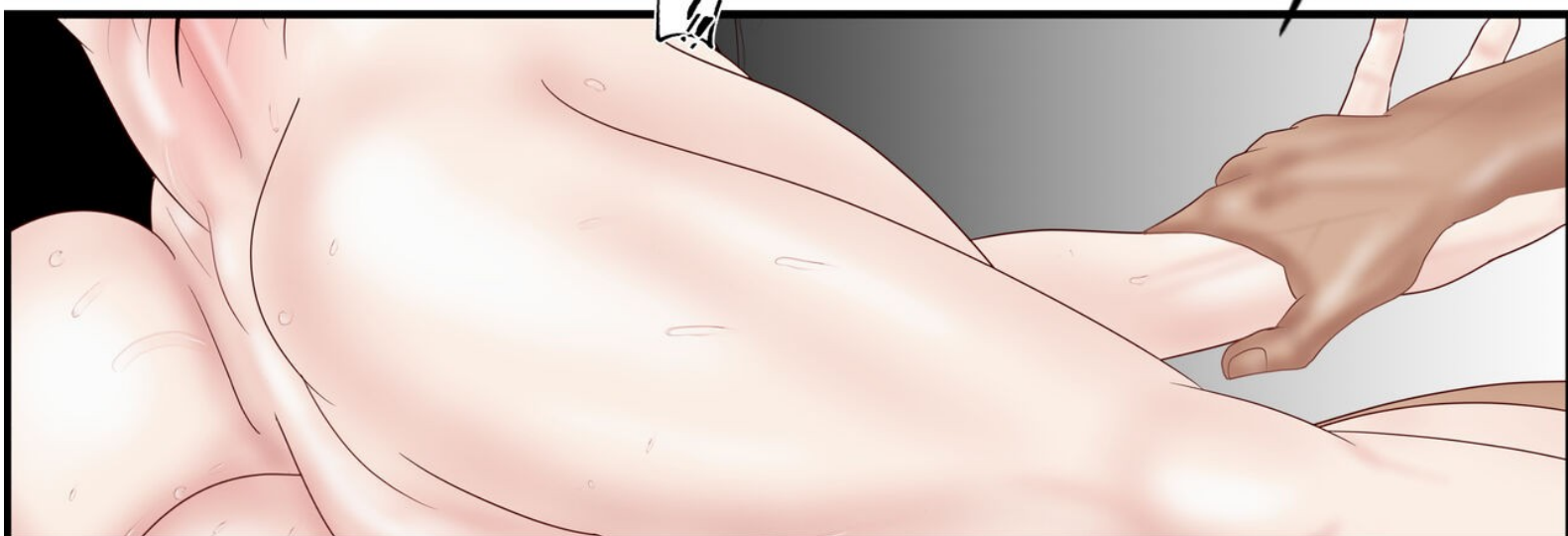
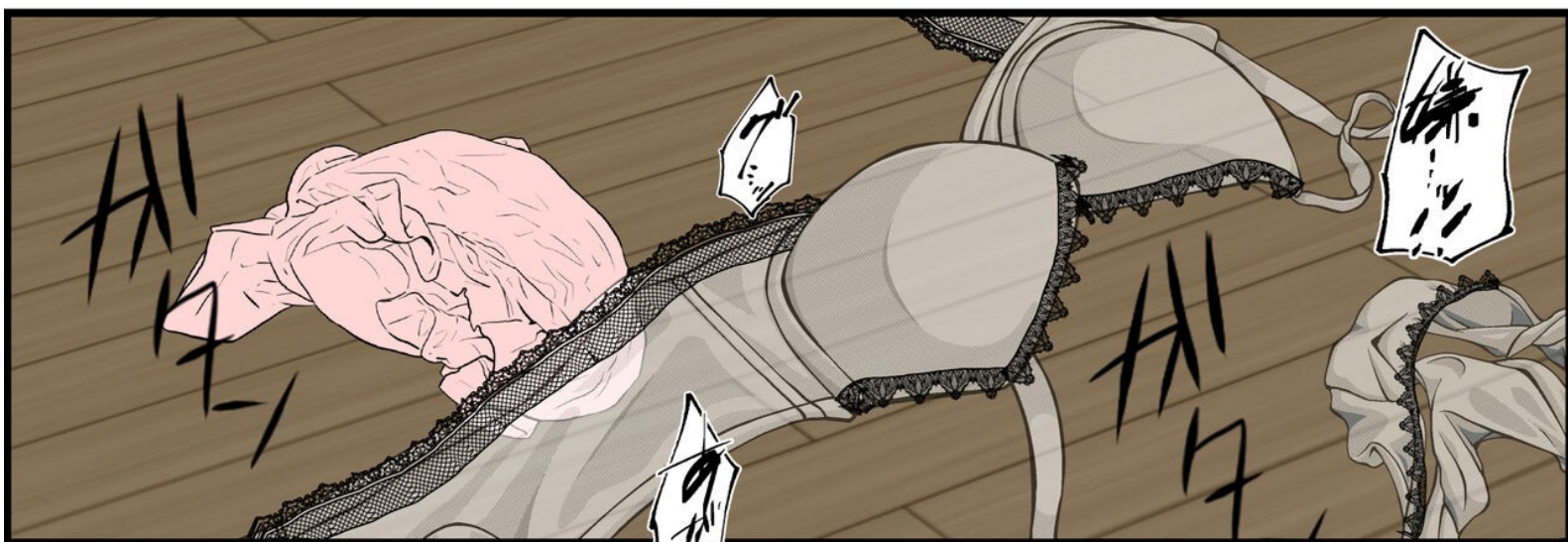
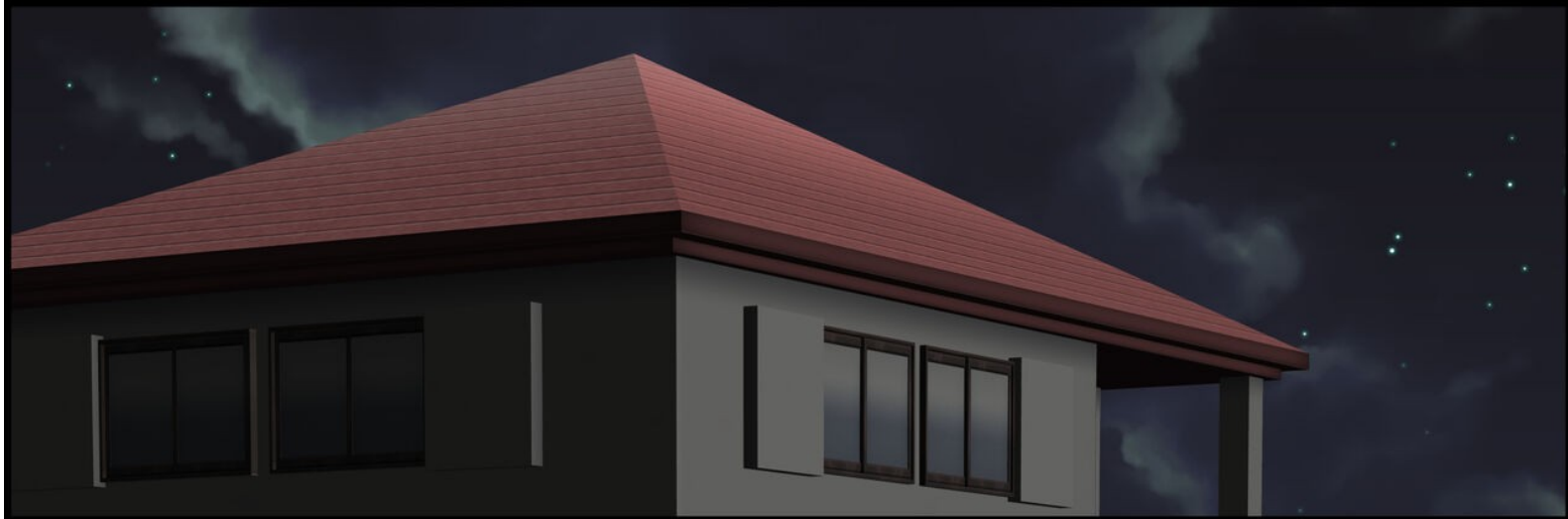
有難うございます
今日は家も一人なので
もう少し居ます……



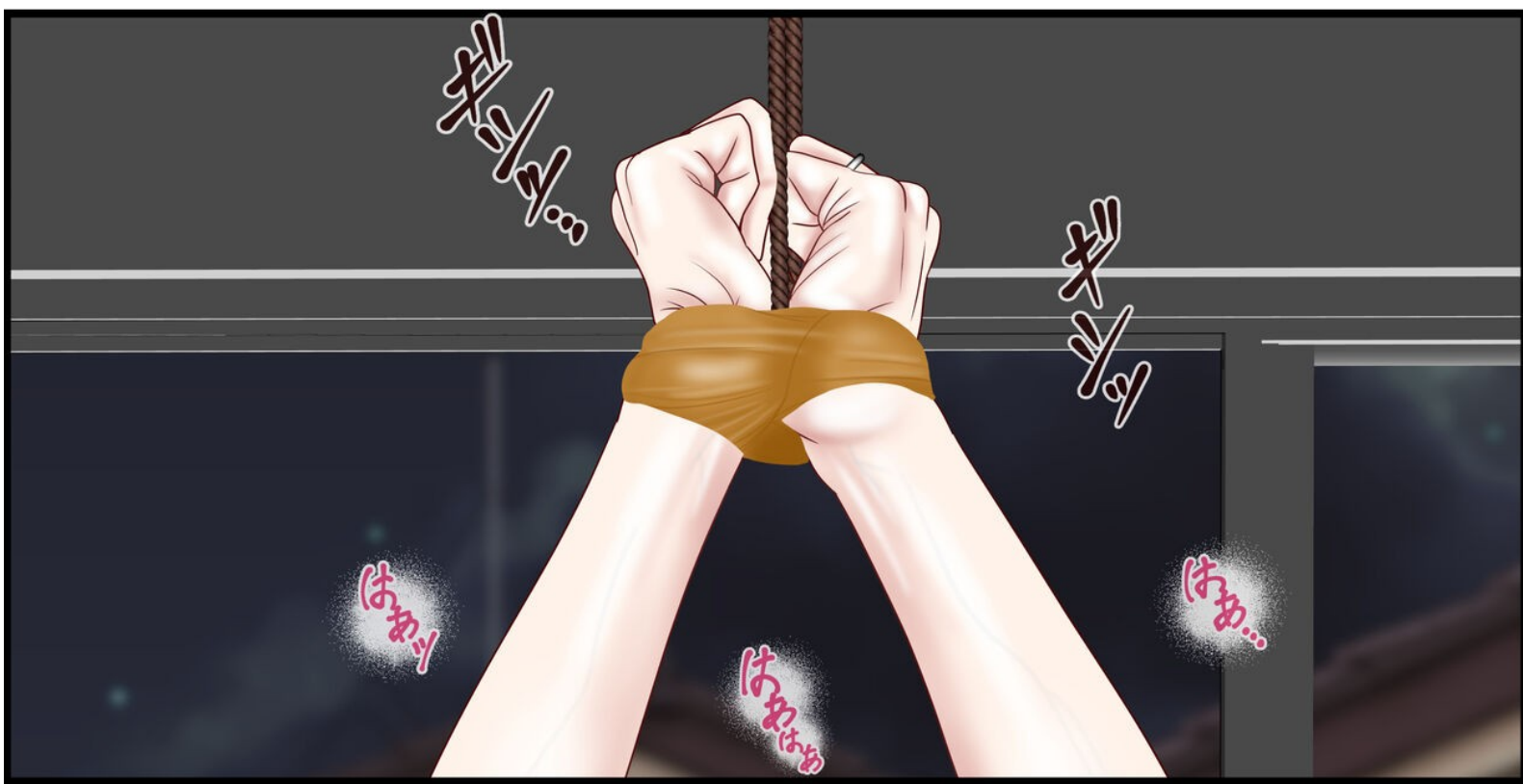
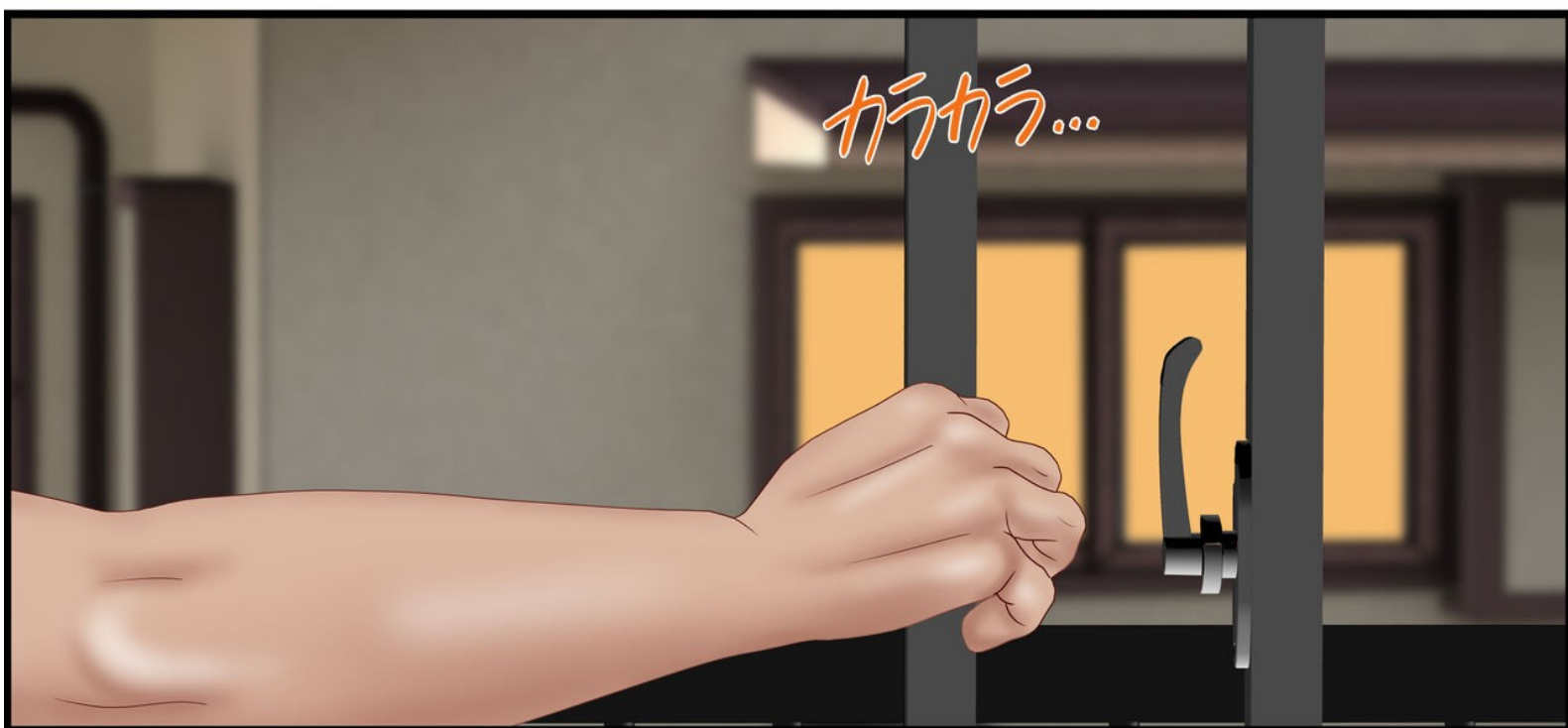
分かりました、ではこれからも
あの二人を宜しくお願いします

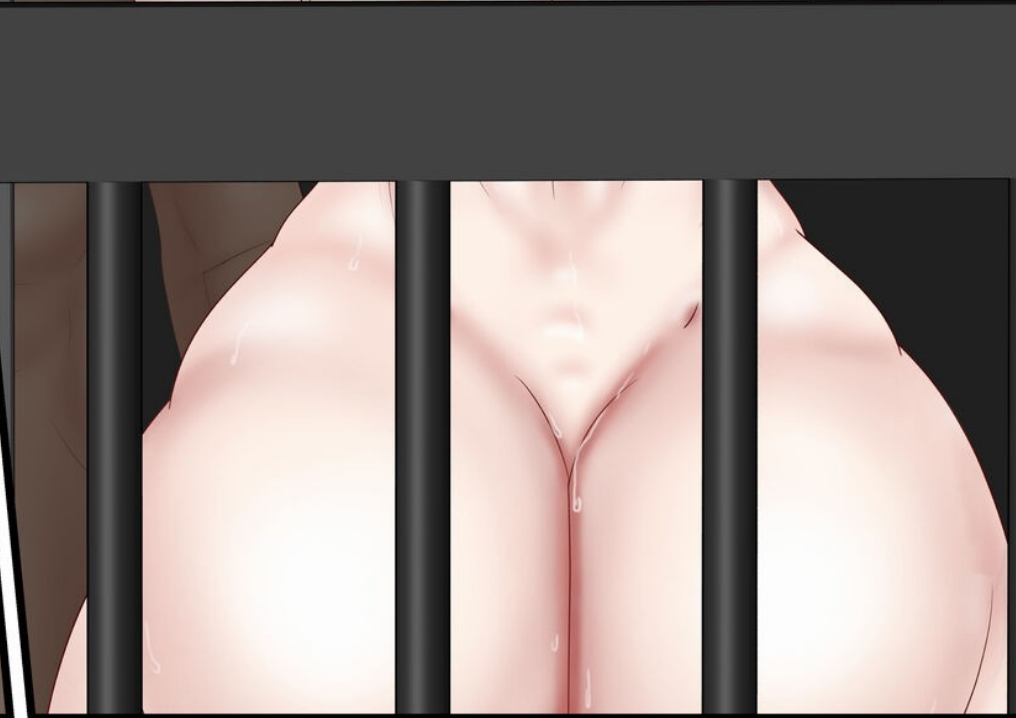
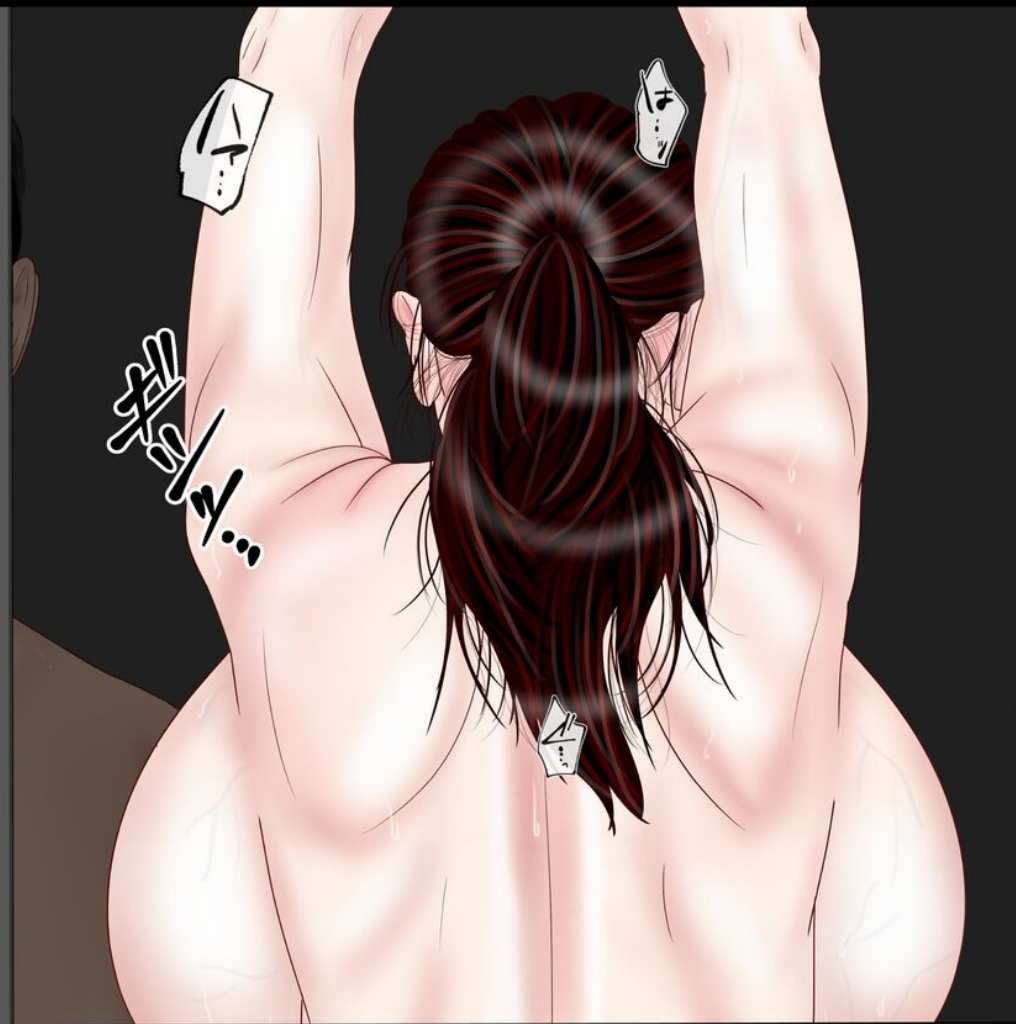
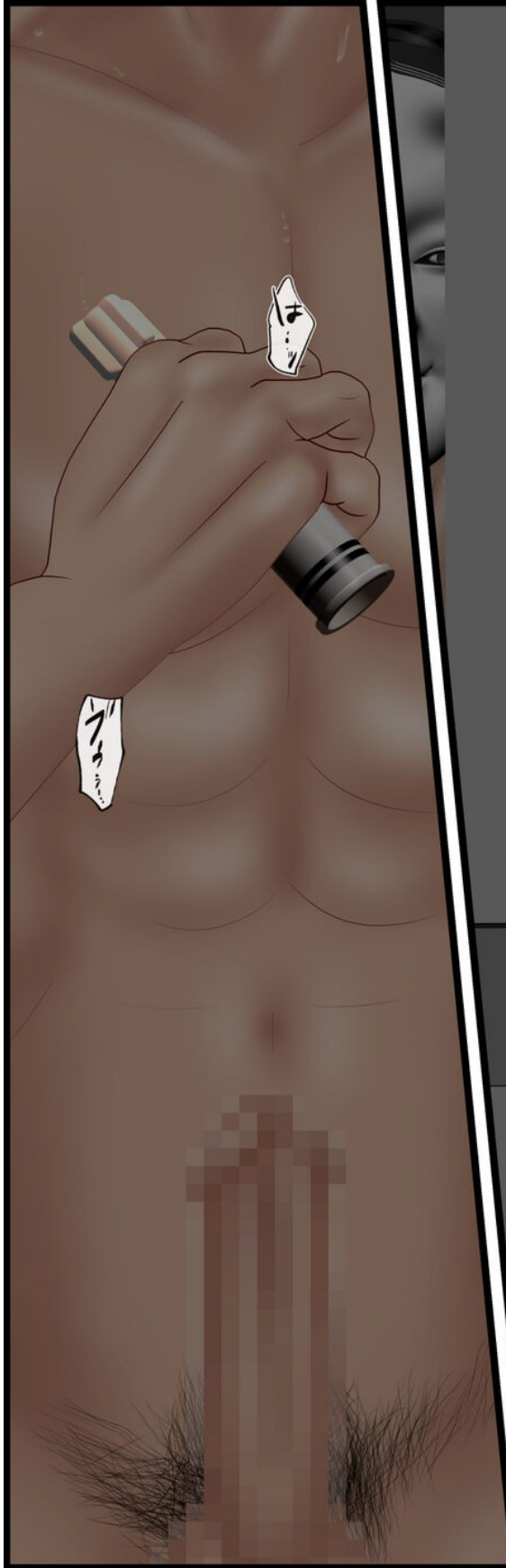
言えないわ……この秘密だけは。
絶対に……言えない……。

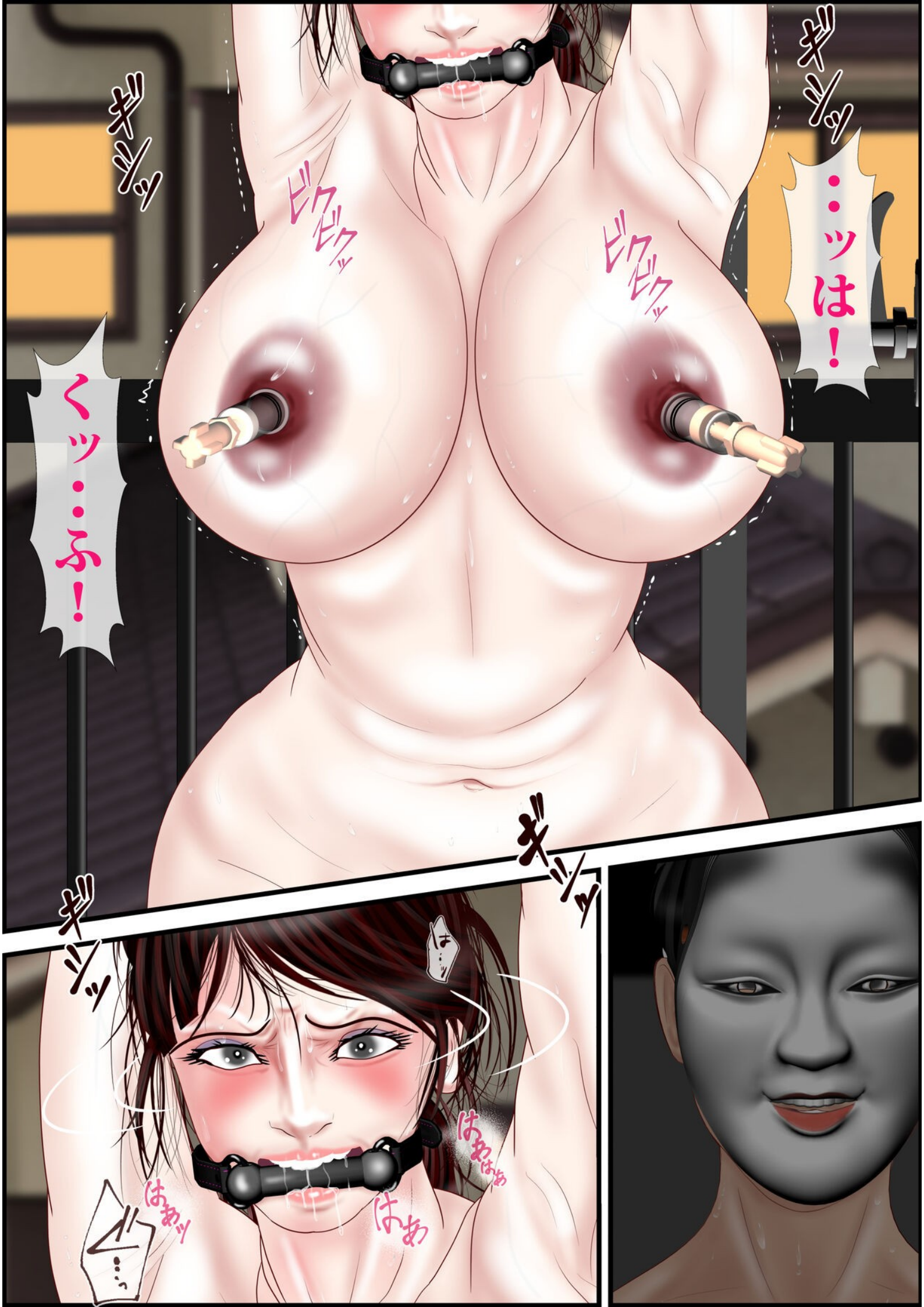












はぁッ

…ッは！

はぁッ

ビクビク

ビクビク

くっ…ふっ！

はぁッ

はぁッ

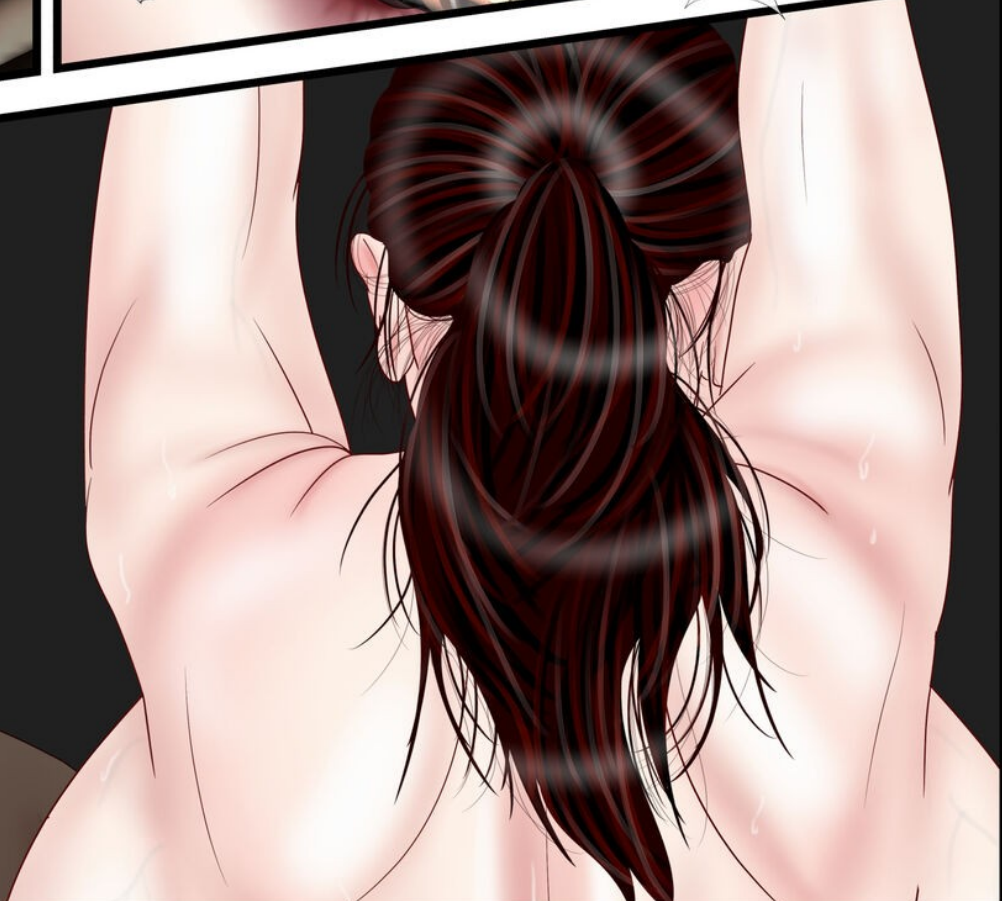
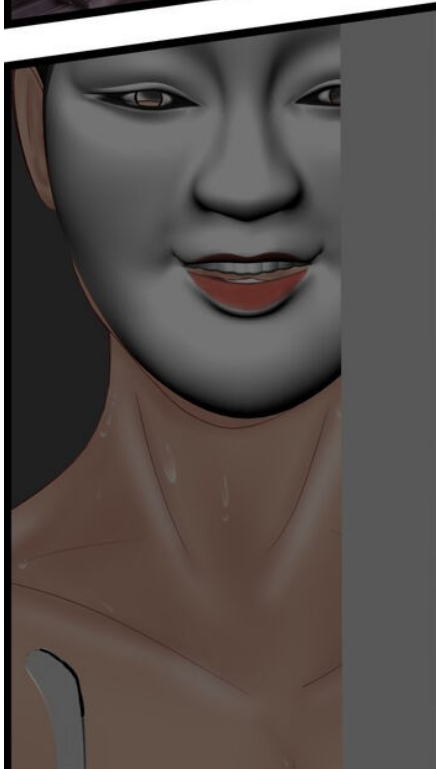
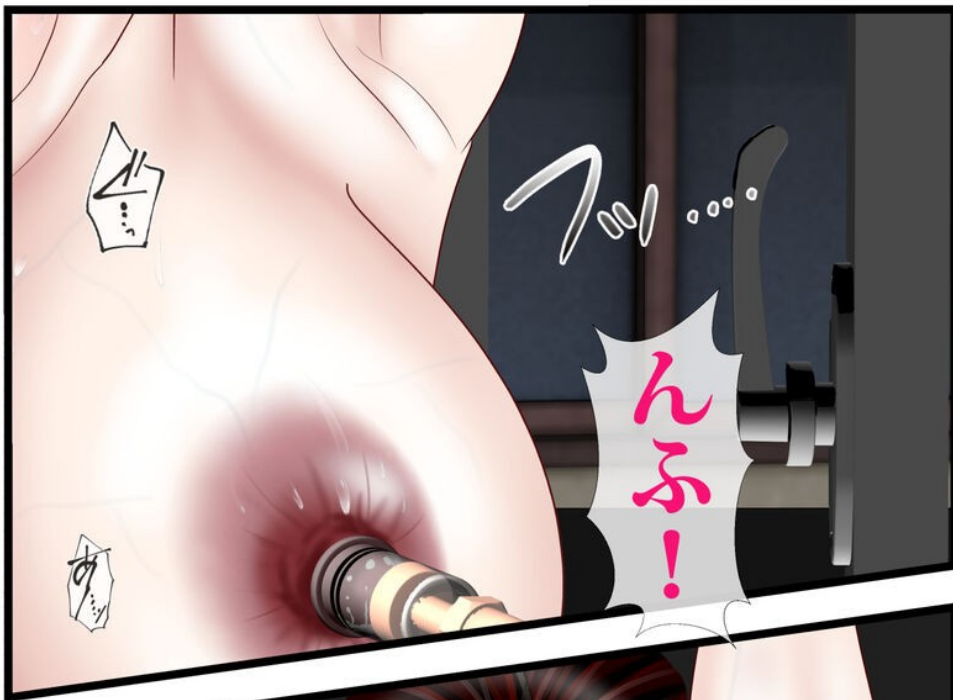
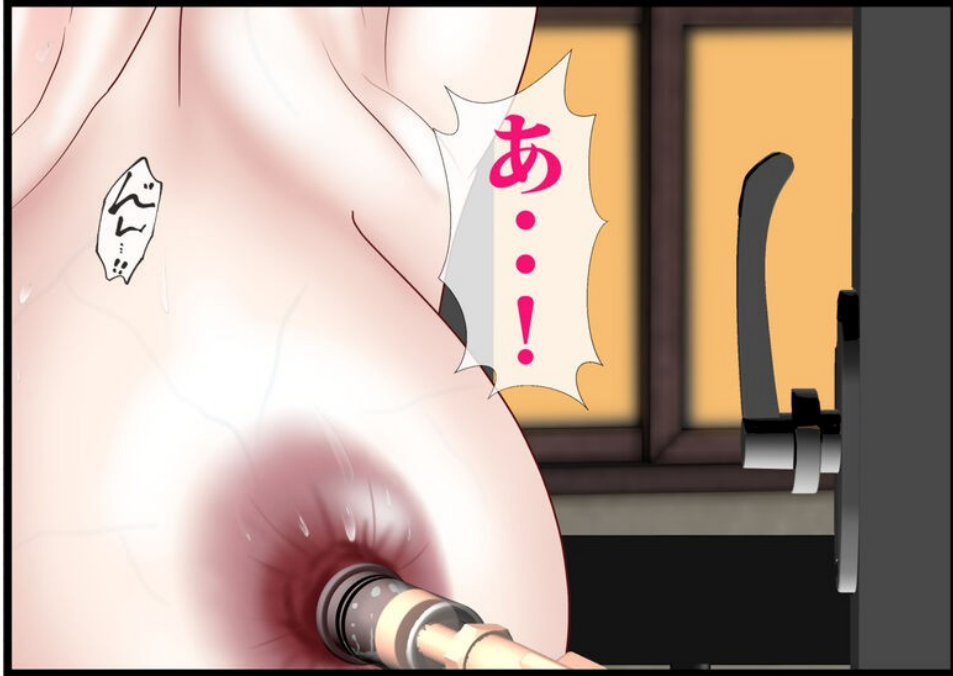
はぁッ

はぁ

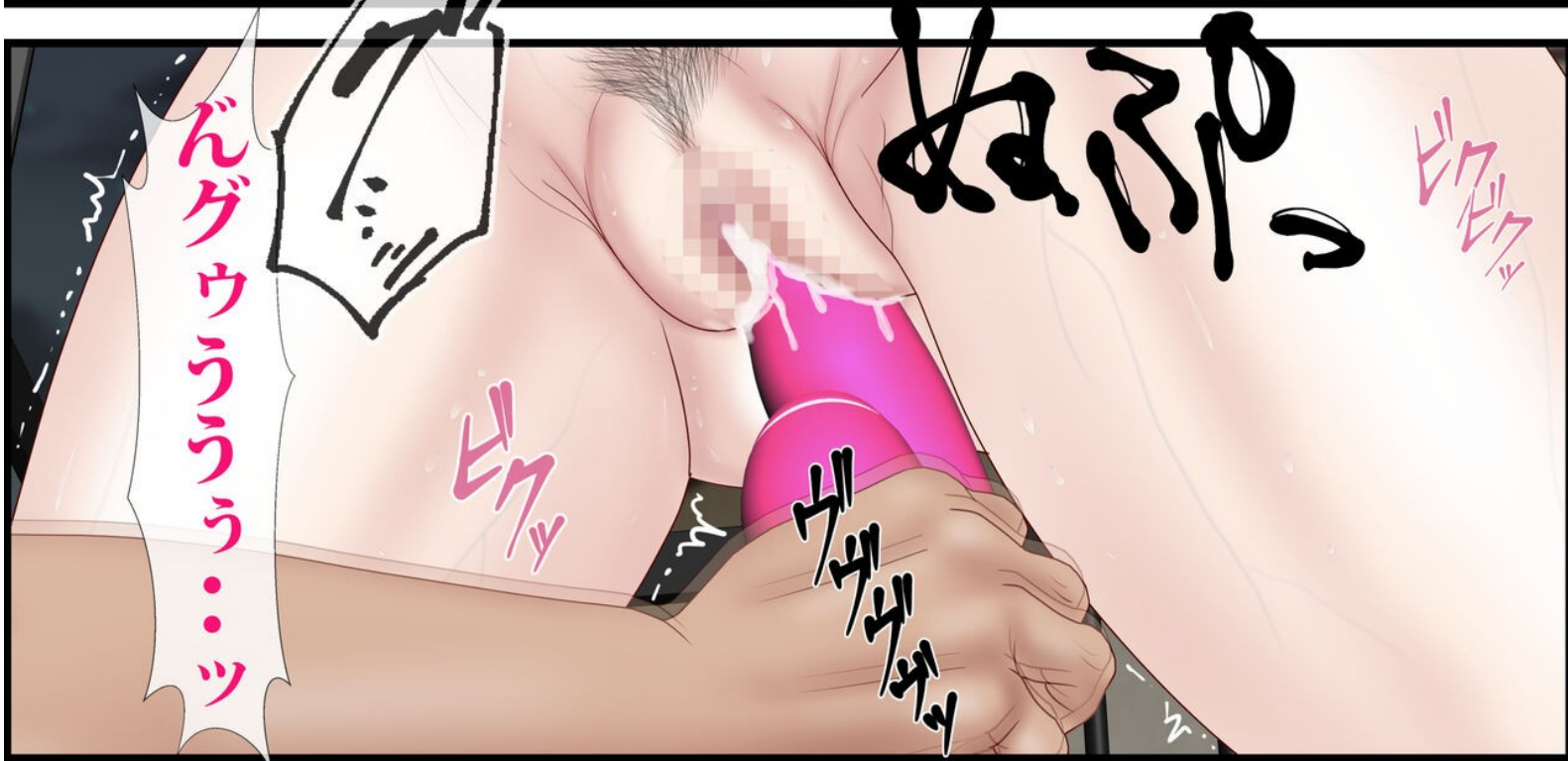
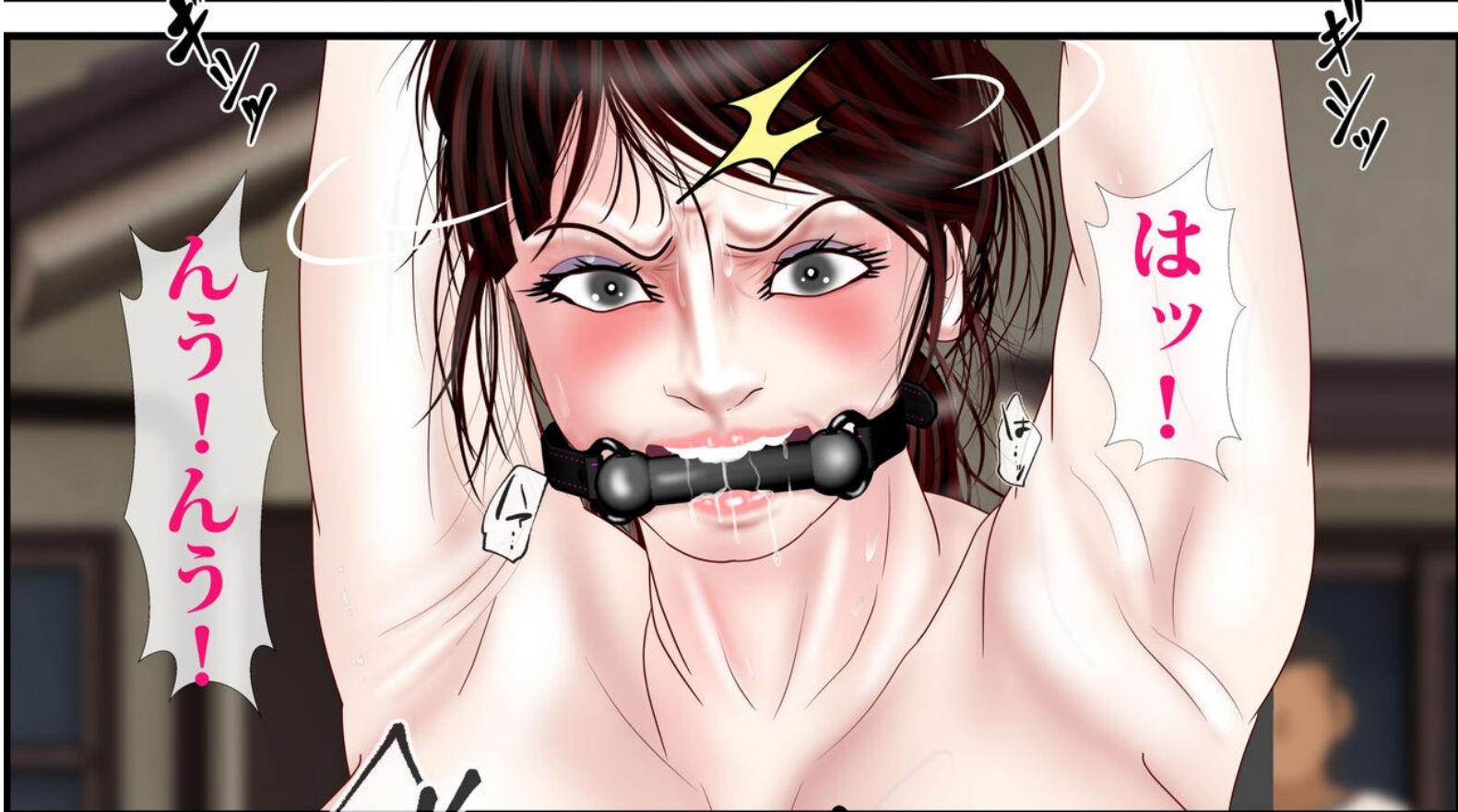
はぁ

はぁッ













ん
...
!!

ん
ク
ウ
う
う
う
...
ッ
!

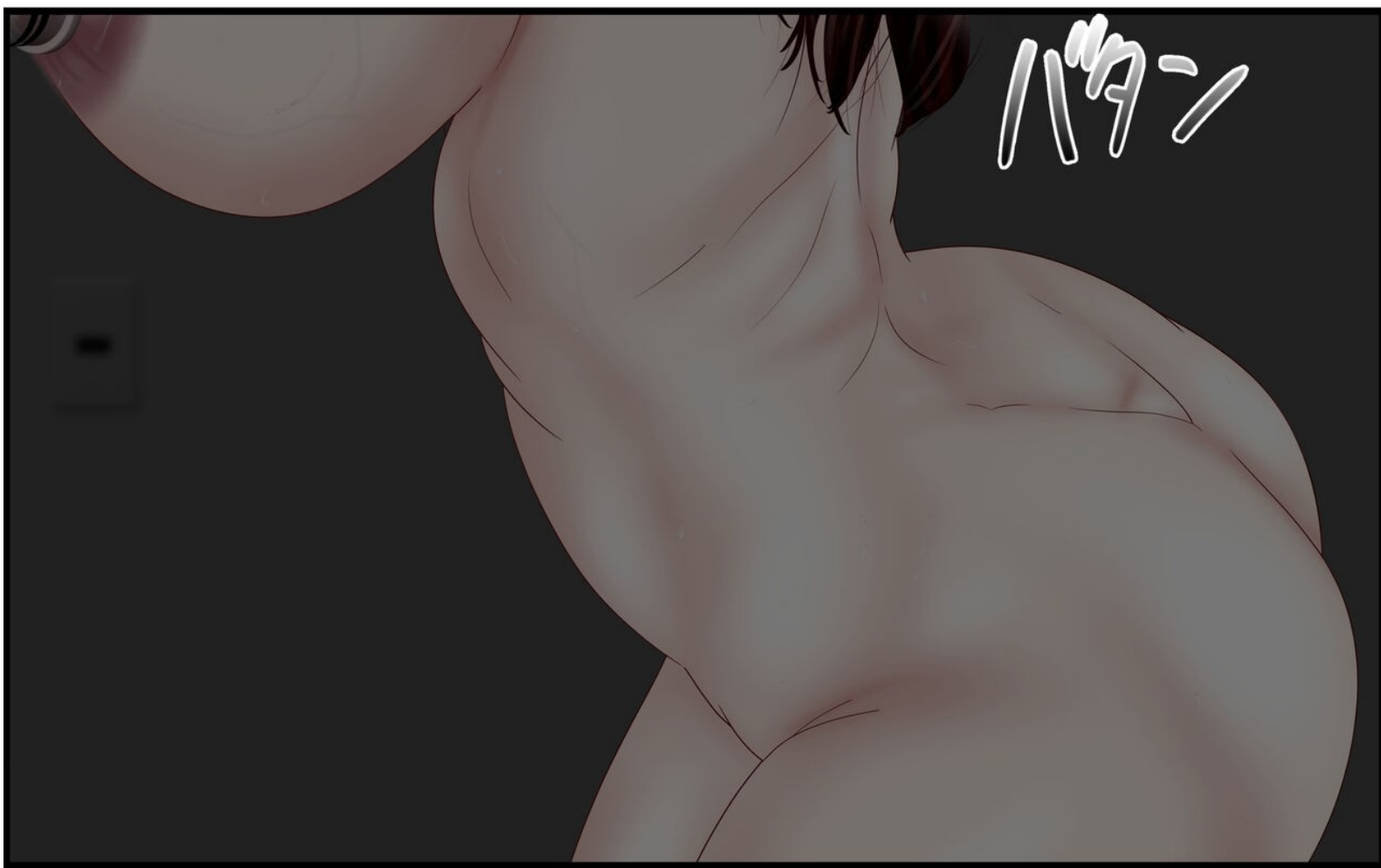
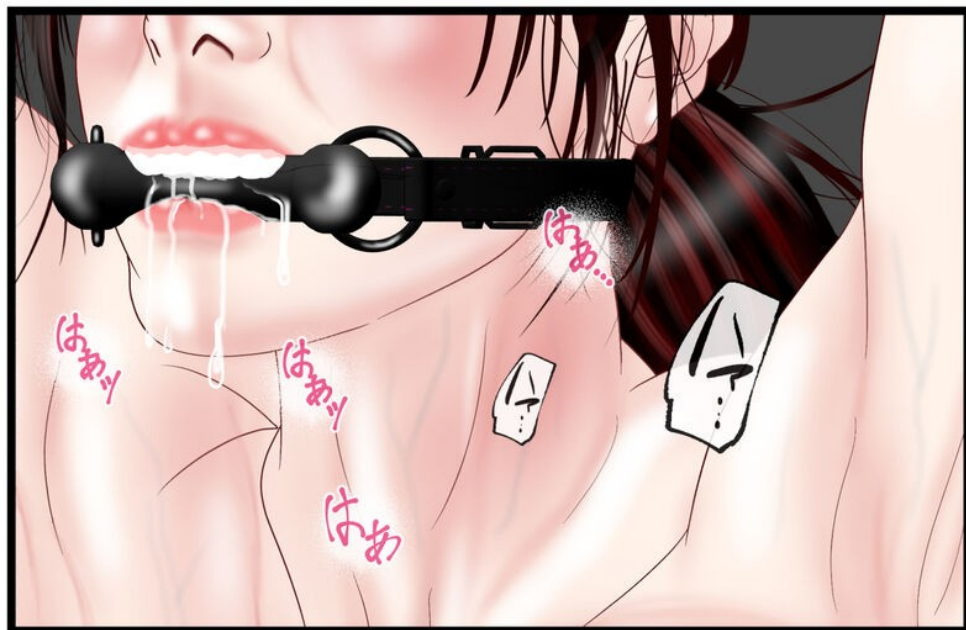
ん
ん
ん
ん
ん

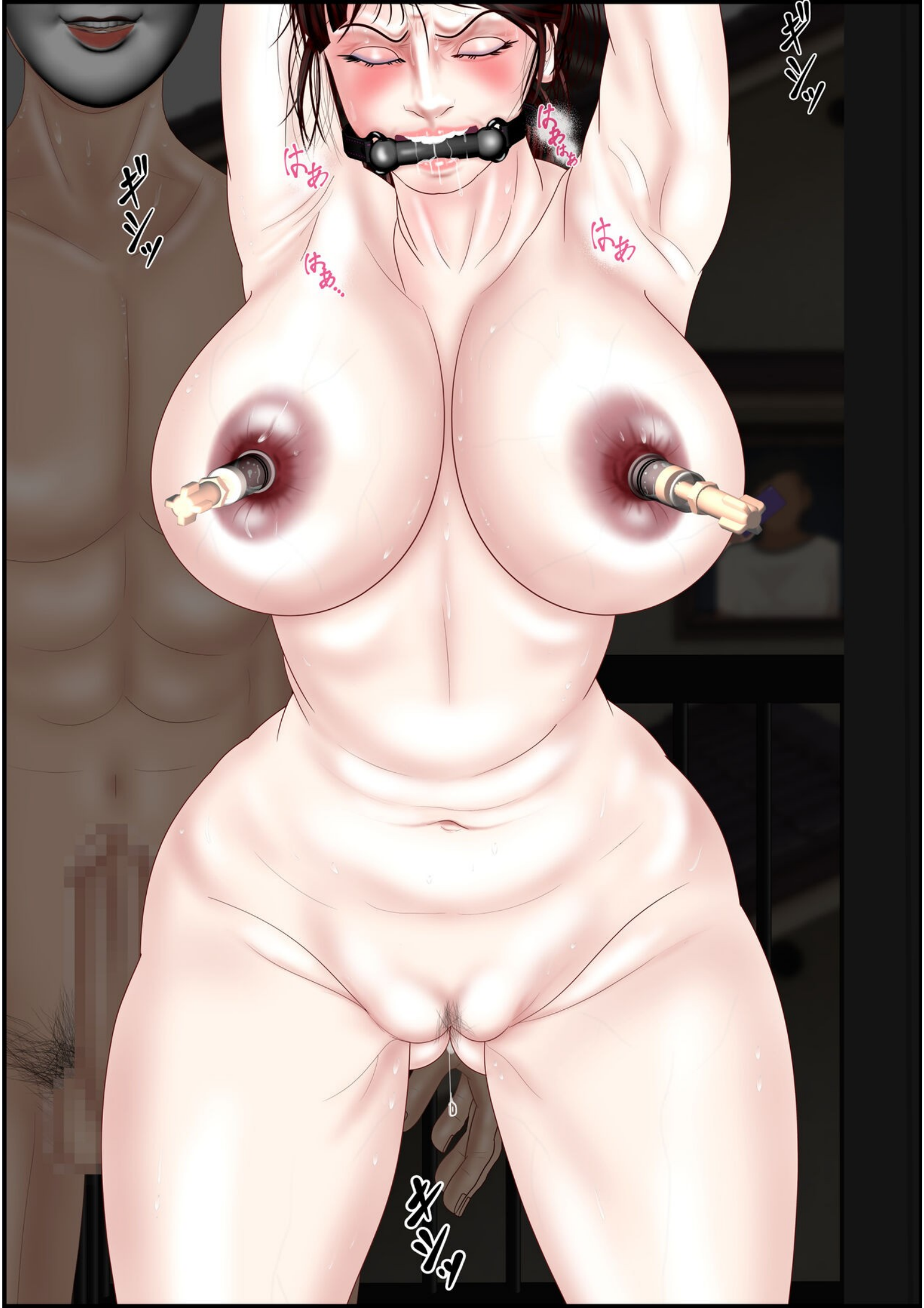
ん
ん
ん
ん
ん

ん
ん
ん
ん
ん
...

ん
ん
ん
ん
ん
ん

ん
ん
ん
ん
ん







でさ、それから連絡
全く無いわけよ

草生えるって
ヒドくね？その女

うーん…
まあ…確かに



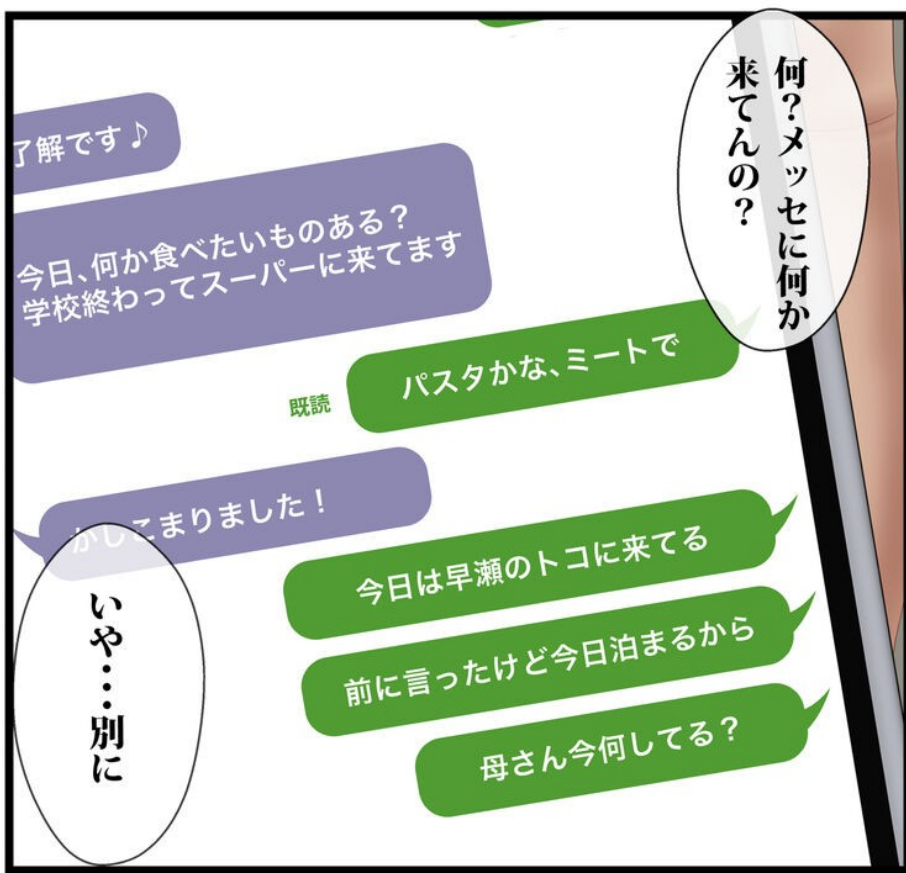
どした？何か今日
翔太、元氣ねーな

そっか？大丈夫だよ



てか腹減ったなあ
コンビニ行かね？

ああ…いいね
行くわ



何？メッセに何か
来てんの？

了解です♪

今日、何か食べたいものある？
学校終わってスーパーに来てます

既読

パスタかな、ミートで

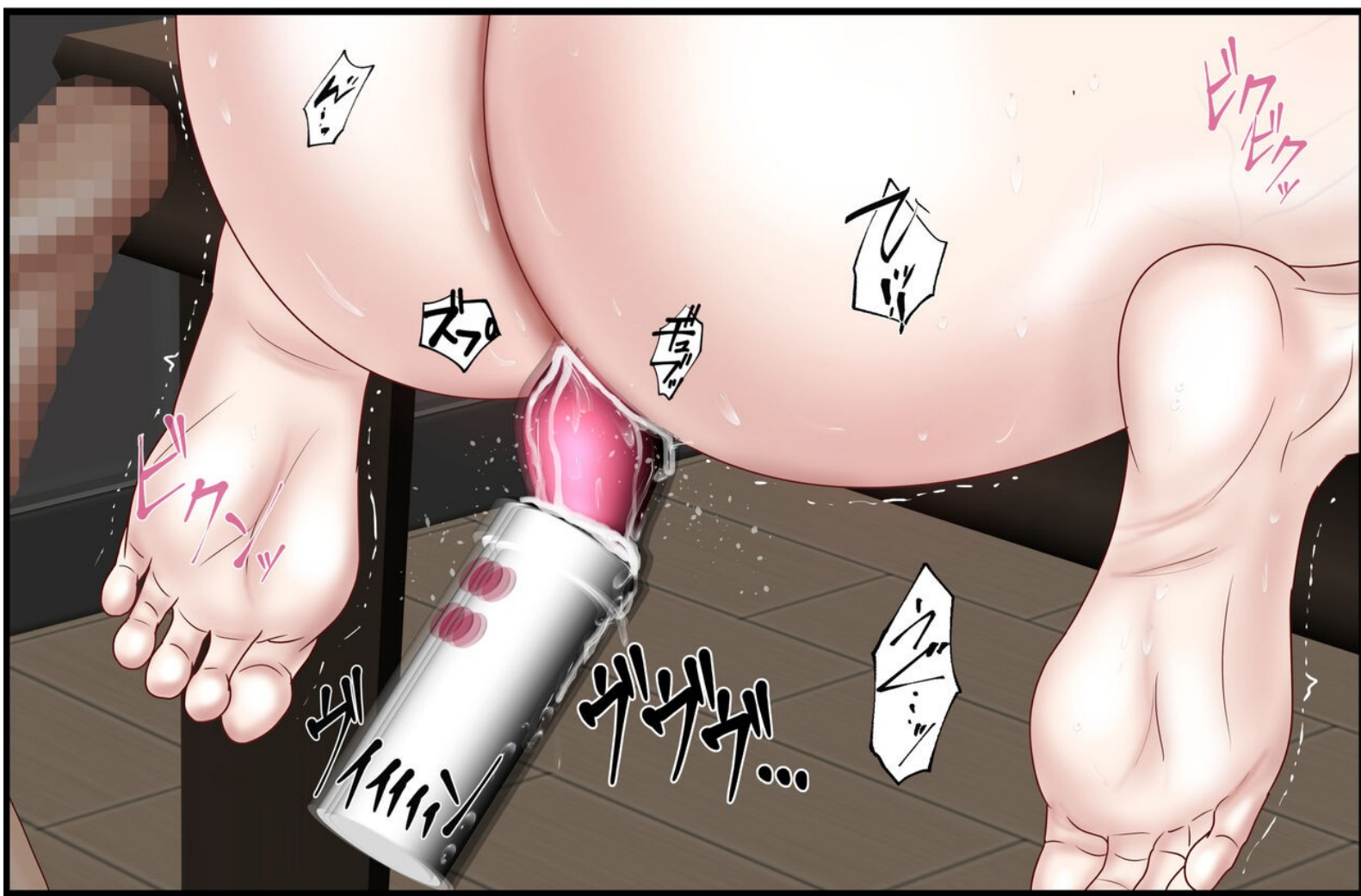
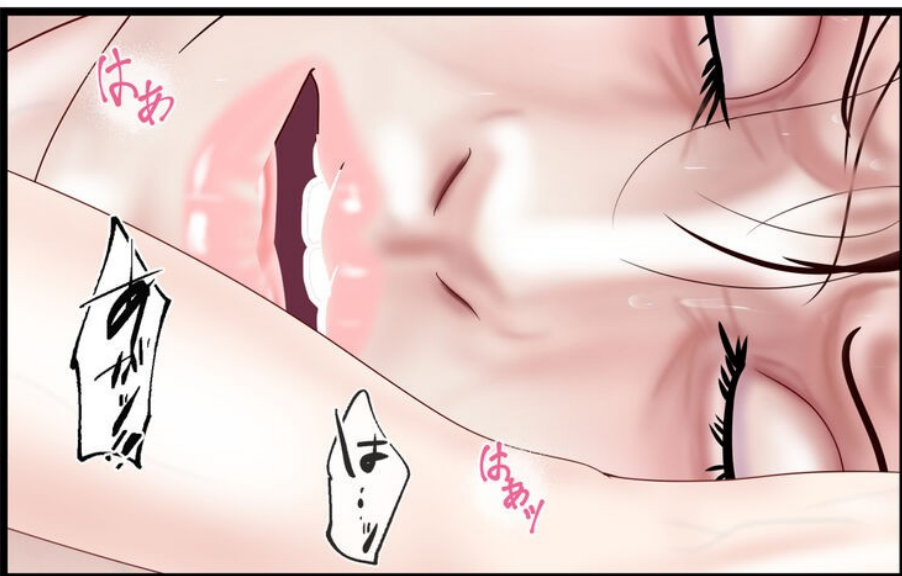
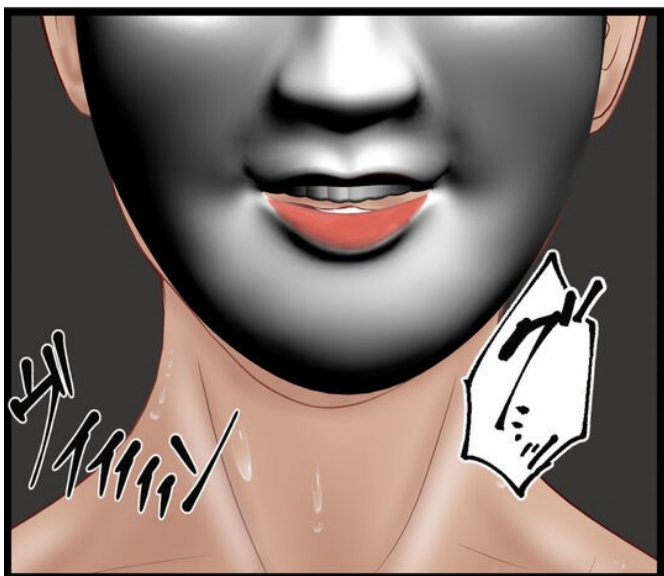
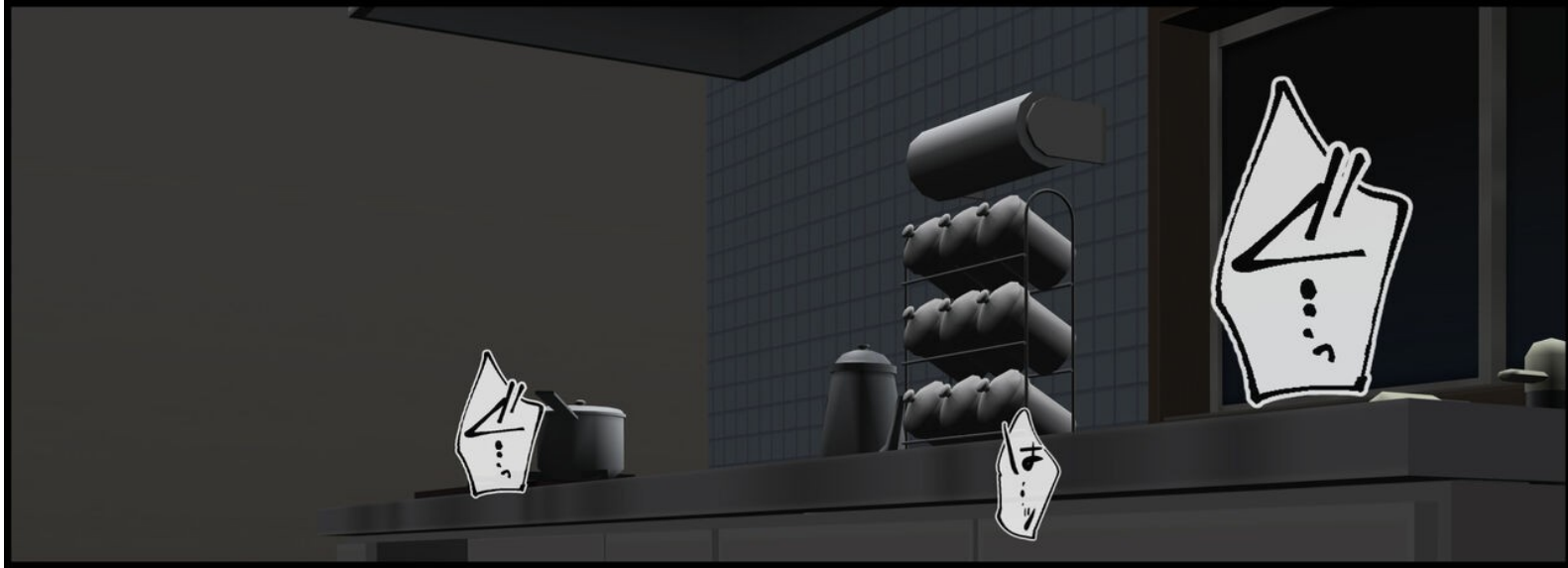
お返事ありがとうございました！

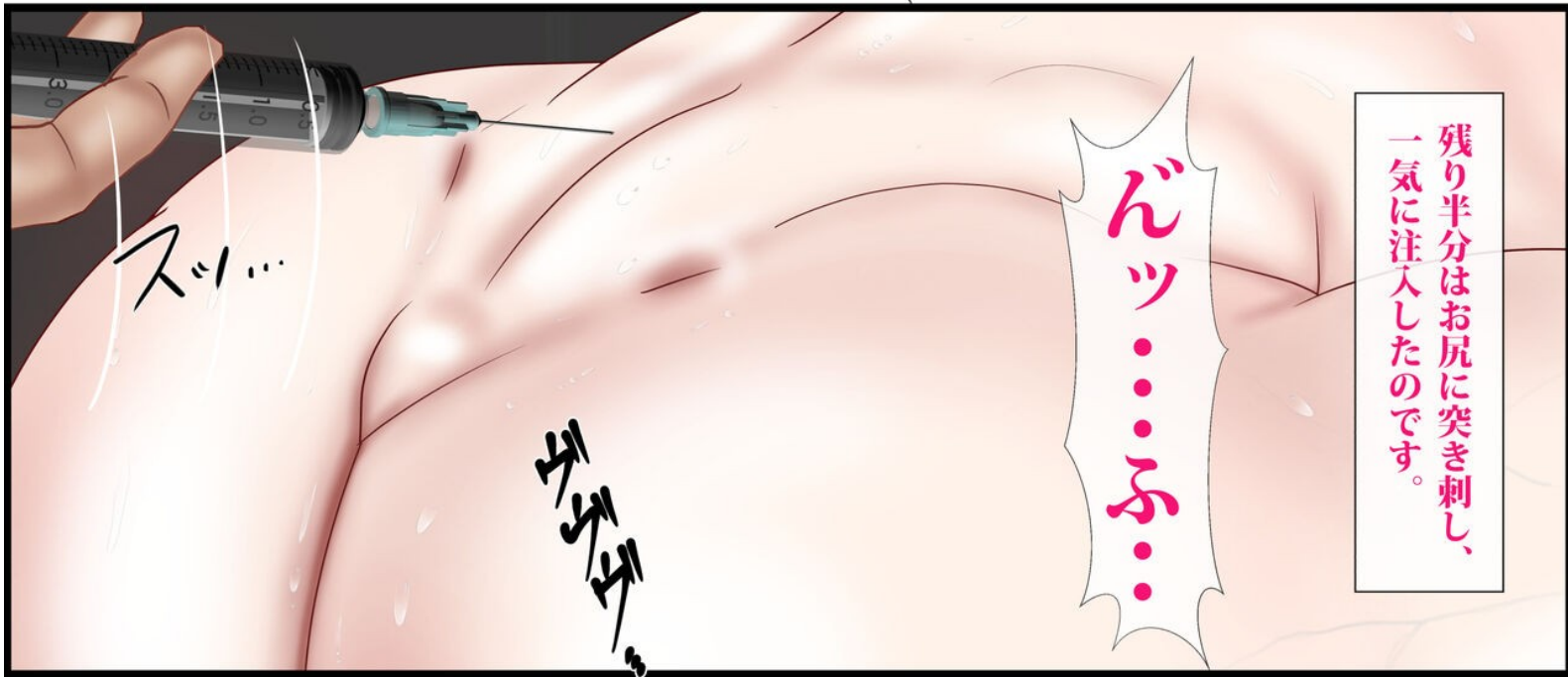
いや…別に

今日は早瀬のトコに来てる

前に言ったけど今日泊まるから

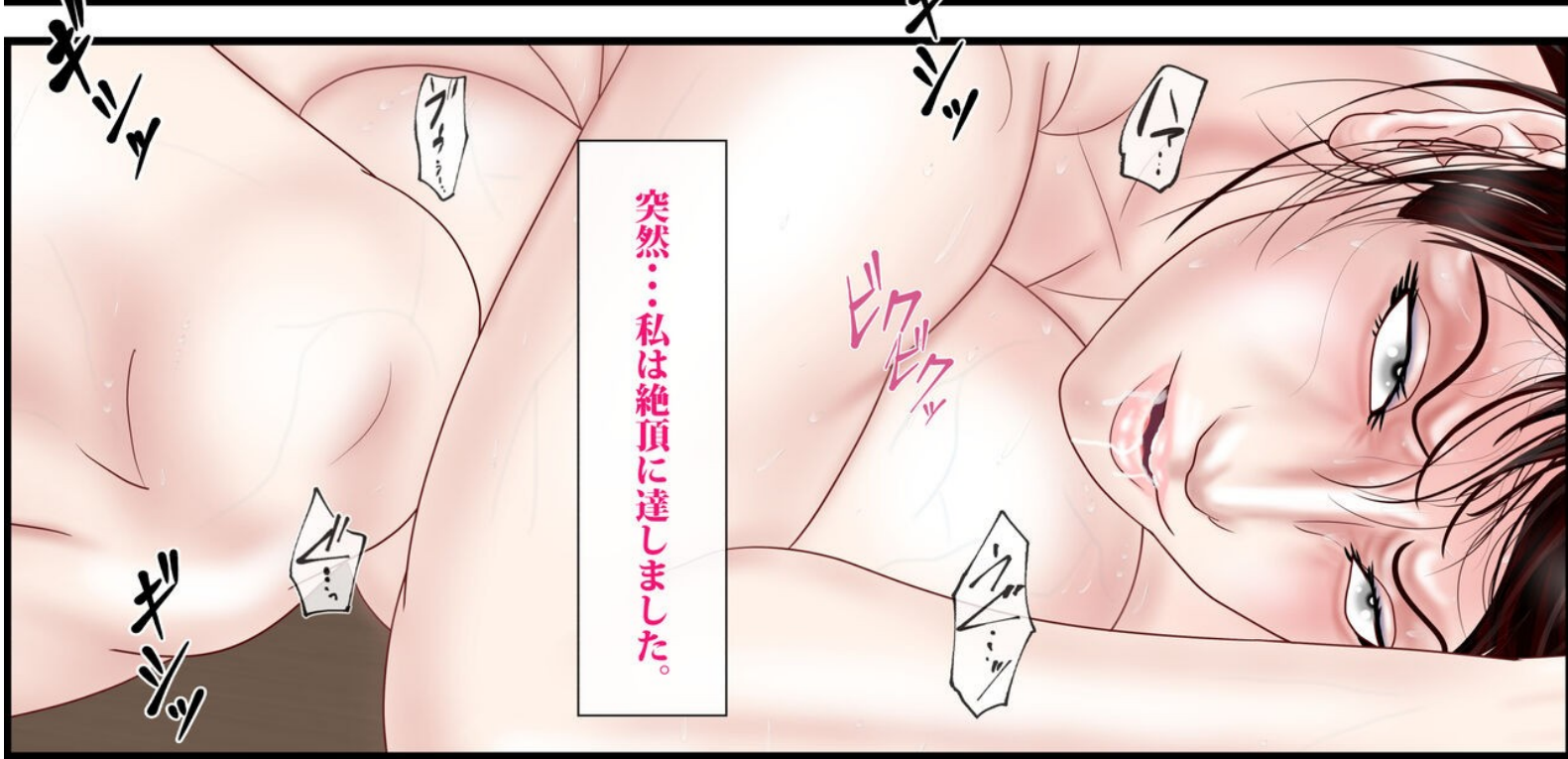
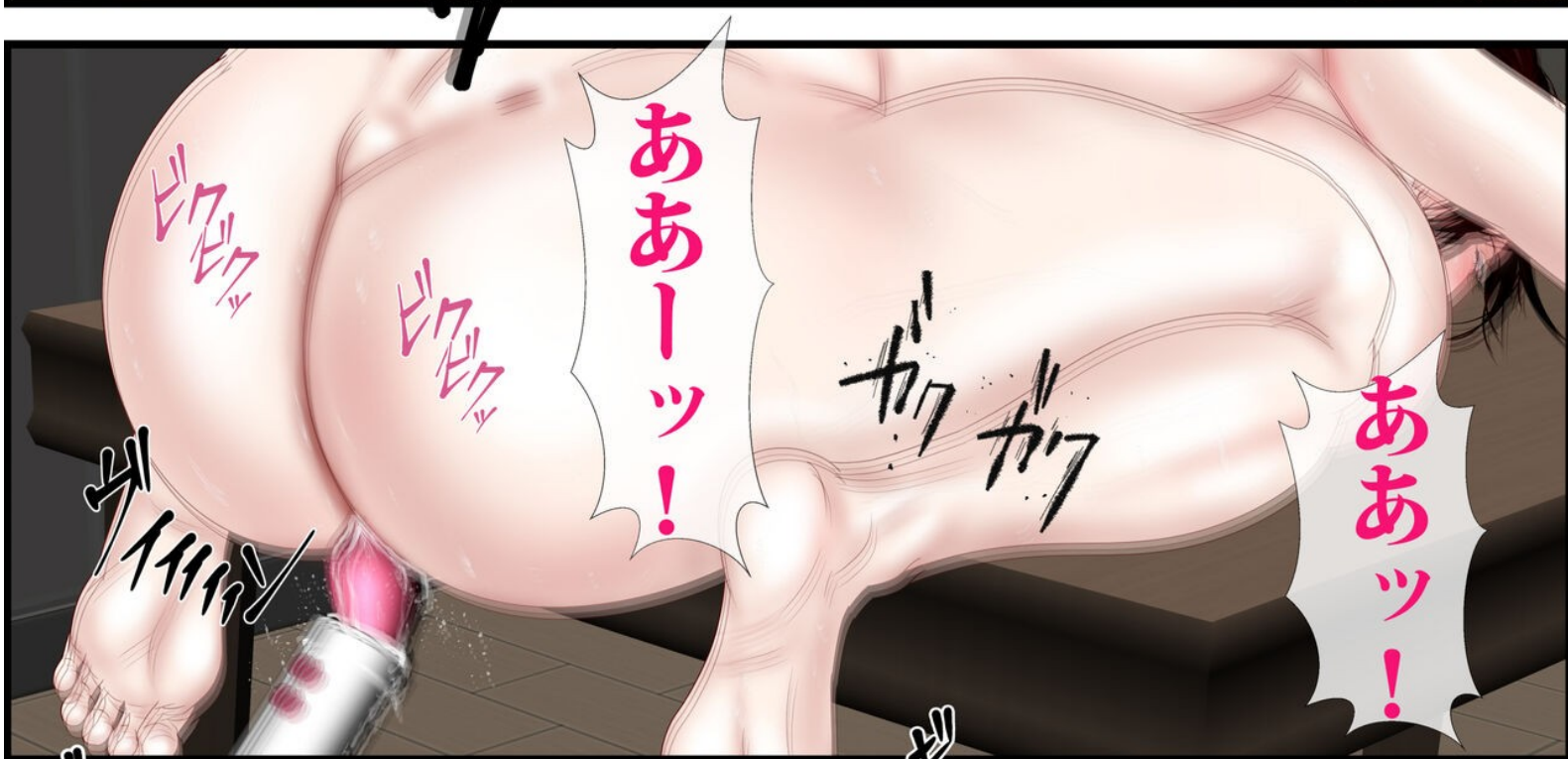
母さん今何してる？

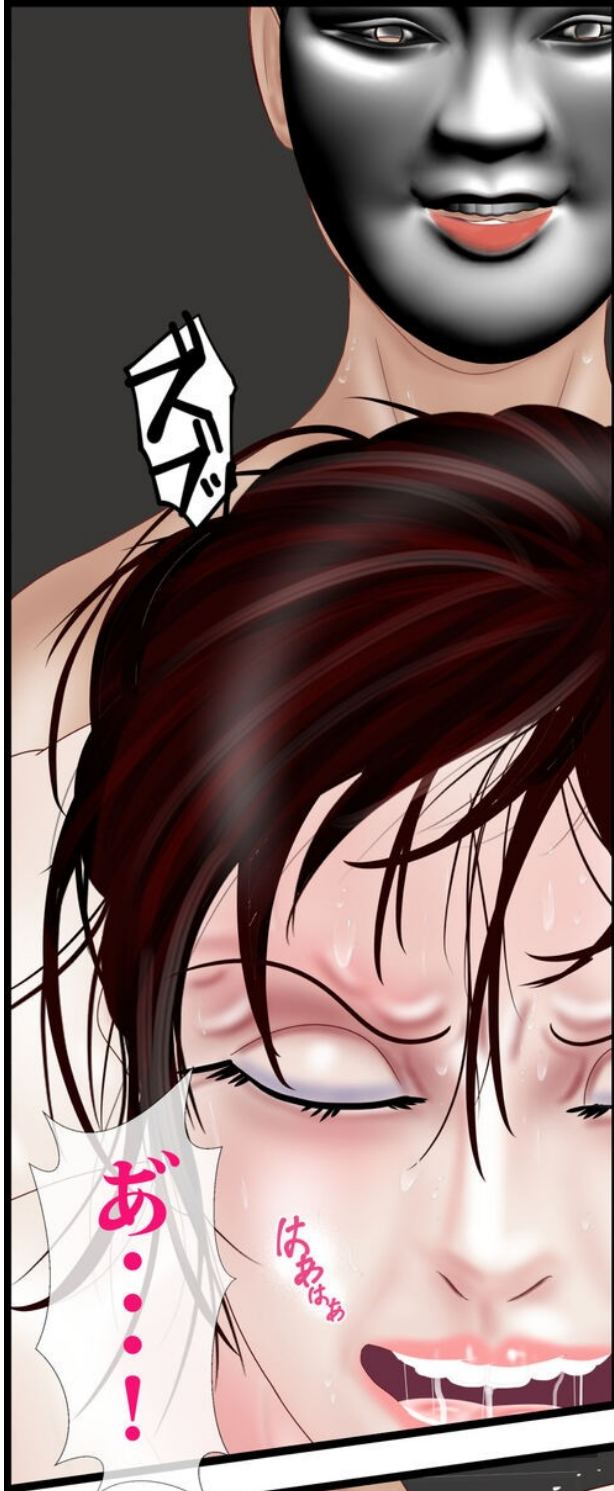






次の瞬間、身体中の血液が一気に
沸騰した様な感覚に襲われ…





分かってるのは、犯されながら
私は何度も絶頂に達した事です。

ぐう！

おうツ！

ああイクう！

ああああ！

イグウウウツ…！！



美希はお前のスケだ？
頭沸いてんのかテメエ

こんな良い女、テメエにや
百年早えんだよ真島

河野美希は
俺の女にする

アパッ

アパッ

アパッ

オッ

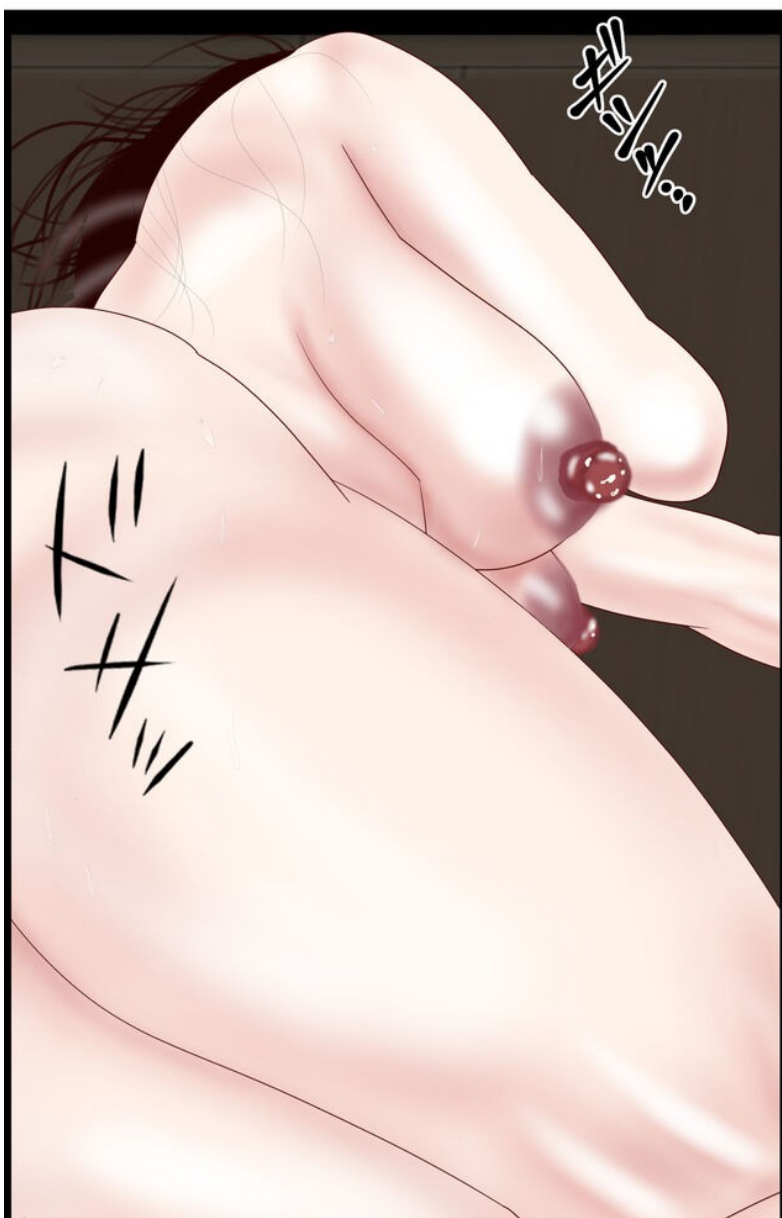
オッ

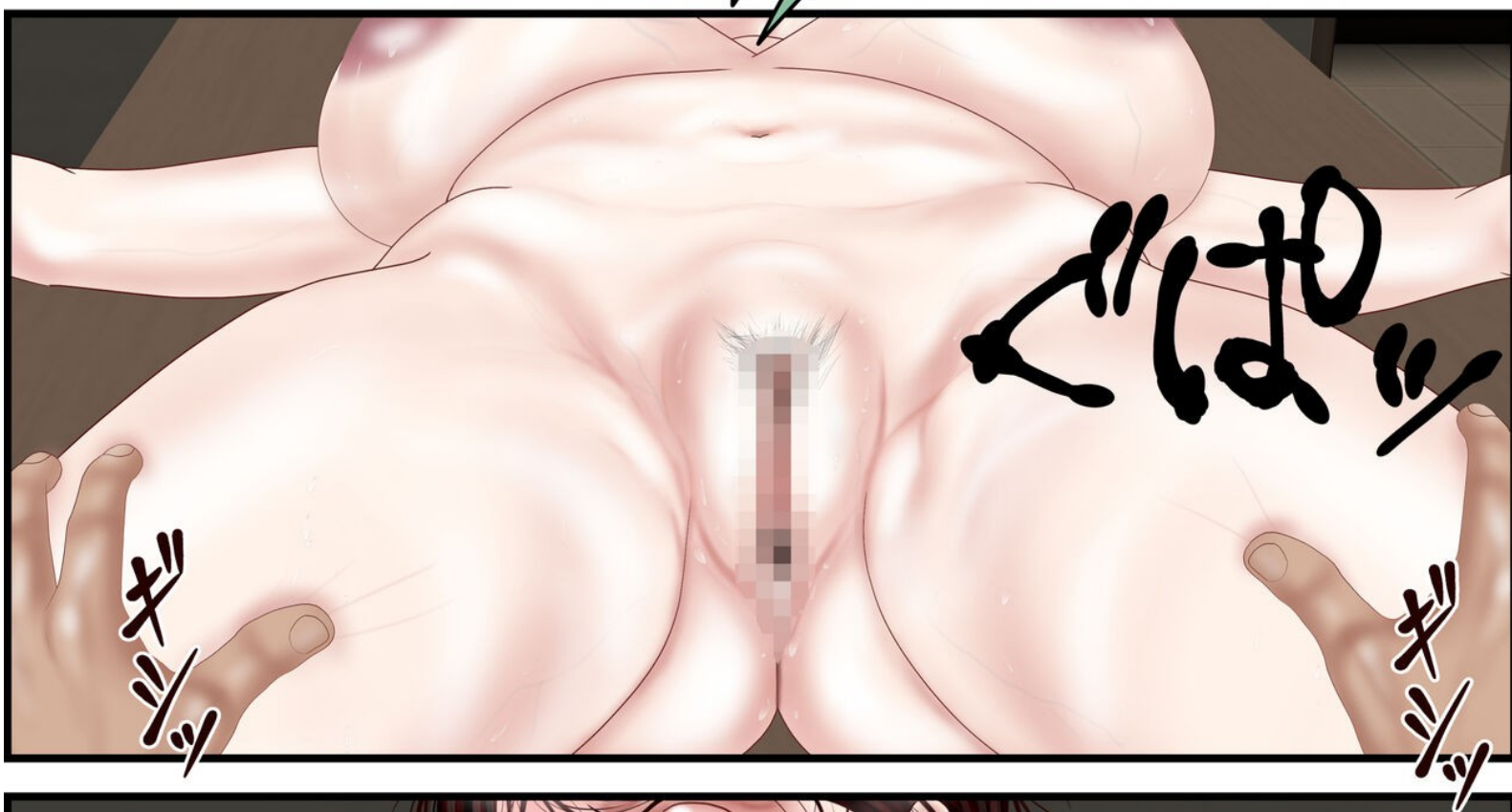
ハッ

ハッ

ハッ

ハッ



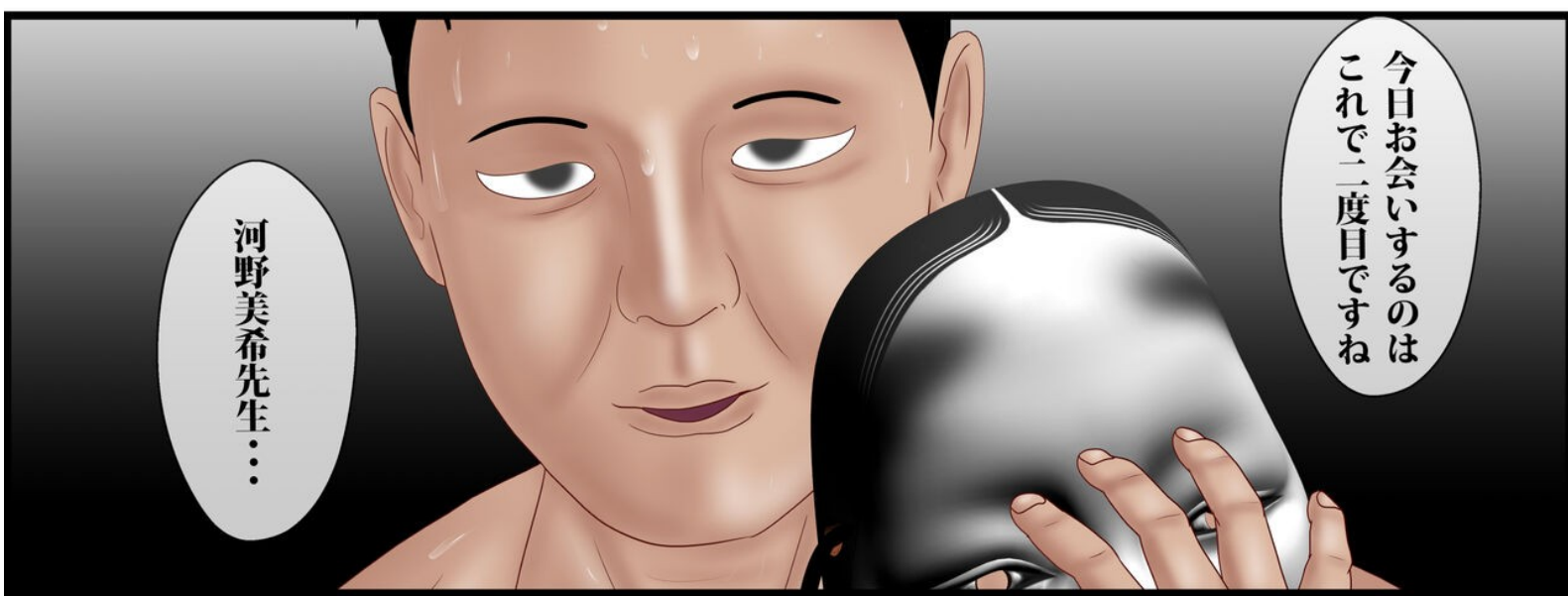


あー...いやあ
しかし暑いね...

ぐんぐん...



いや失礼・・・暑いので
仮面を取りました



今日お会いするのは
これで二度目ですね

河野美希先生・・・

次回
女教師は俺の母親4
最終章に続く

